

東北地区 大学図書館協議會誌

第 62 号
平成 23 年 4 月



国際教養大学図書館

	表紙裏面
加盟館一覧	
研修部会の委員を担当して感じたこと - 全ての職員が講師です -	1
第 65 回東北地区大学図書館協議会総会	6
日 程	6
総会資料	7
総会議事要録	19
出席者名簿	27
図書館統計年報	31
協議会総会当番地区・当番大学	34
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	35
東北地区大学図書館協議会研修部会委員	36
東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会委員	36
東北地区大学図書館協議会会則等	37
東北地区大学図書館協議会防災連絡網設置要項（国立部会、公立部会）	45
加盟館職員名簿	47

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国 立 15 館)			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町1	(0172)39-3155
岩手大学情報メディアセンター図書館	020-8550	盛岡市上田3-18-8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内27-1	(022)795-5911
同 医 学 分 館	980-8575	仙台市青葉区星陵町1-1	(022)717-7973
同 北 青 葉 山 分 館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	(022)795-6368
同 工 学 分 館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-03	(022)795-5892
同 農 学 分 館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町1-1	(022)717-8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉149	(022)214-3348
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町1-1	(018)889-2273
同 医 学 部 分 館	010-8543	秋田市本道1-1-1	(018)884-6052
山形大学小白川図書館	990-8560	山形市小白川町1-4-12	(023)628-4904
同 医 学 部 図 書 館	990-9585	山形市飯田西2-2-2	(023)628-5054
同 工 学 部 図 書 館	992-2235	米沢市城南4-3-16	(0238)26-3019
同 農 学 部 図 書 館	997-8555	鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川1	(024)548-8083
(公 立 12 館)			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市大字合子沢字山崎153-4	(017)764-1551
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬58-1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0193	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子152-52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑1-1	(022)377-8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西241-438	(018)872-1561
秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町12-3	(018)888-8106
国際教養大学図書館	010-1292	秋田市雄和椿川字奥椿岱193-2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳260	(023)686-6671
山形県立米沢女子短期大学附属図書館	992-0025	米沢市通町6-15-1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀字上居合90	(0242)37-2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1	(0242)37-2458
福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘1	(024)547-1687
(私 立 37 館)			
青森大学・青森短期大学附属図書館	030-0943	青森市幸畑2-3-1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字清原1-1-16	(0172)33-2289
八戸大学・八戸短期大学図書館	031-8588	八戸市美保野13-98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開88-1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町13-1	(0172)34-5211
青森中央学院大学・同短期大学図書館情報センター	030-0132	青森市横内字神田12	(017)728-0131
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸19-1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子450-3	(0198)22-4986
盛岡大学図書館	020-0183	岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市萩荘字竹際49-1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0151	岩手県岩手郡滝沢村大釜字千ヶ窪14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南2-2-18	(0224)55-1399
仙台白百合女子大学図書館	981-3115	仙台市泉区本町6-1	(022)374-5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋1-3-1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央1-13-1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢2-1-1	(022)375-1174
東北工業大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)305-3178
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見1-8-1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見6-45-1	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島4-4-1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜が丘9-1-1	(022)279-5658
尚綱学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘4-10-1	(022)381-3439
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山5-5-2	(022)376-8257
仙台青葉学院短期大学図書館	984-0022	仙台市若林区五橋3-5-75	(022)369-8003
東北生活文化大学・同短期大学部図書館	981-8585	仙台市泉区虹の丘1-18-2	(022)272-7518
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜字守沢46-1	(018)836-2406
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市上桜田3-4-5	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池1559	(023)655-2385
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	990-2316	山形市片谷地515	(023)688-7544
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野5-5-1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町字三角堂31-1	(024)932-8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成3-25-2	(024)932-4848
東日本国際大学・いわき短期大学学術情報センター	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢37	(0246)35-0416
日本大学工学部図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原1	(024)956-8639
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町3-6	(024)534-7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池1-1	(024)553-2087

第65回東北地区大学図書館協議会



国際教養大学 中嶋学長



国際教養大学 勝又図書館館長



東北大学 野家図書館館長



議長団



第65回総会風景



国立大学部会風景



公立大学部会風景



私立大学部会風景

研修部会の委員を担当して感じたこと

－全ての職員が講師です－

1. はじめに

業務委託の増加や継続的な人員削減などにより、図書館業務についても業務スキルや業務遂行のもととなる考え方が引き継がれにくい状況となっています。このような中、職員研修は図書館界での最重要課題の一つであると思います。しかし、現実には日頃の業務に追われ、職員研修が普段話題にのぼることはなかなか無いのが実情ではないでしょうか。

東北地区大学図書館協議会（以下、協議会）では、こうした状況に対応するため、平成20年9月1日より研修部会を設置し、次のような目標を掲げて活動しています。

「東北地区大学図書館協議会では各種の図書館職員向け研修を実施してきたが、さらに効果的な研修を提供し、持続的に職員のスキルの向上を図る必要がある。本部会では、研修体系及び内容の再構築を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流を図る。」

本稿では、研修部会の活動内容を報告し、私が活動に携わった中で感じたことを述べたいと思います。皆様の職場で今後どのように業務スキルを継承し、発展させていけばよいかを考えるきっかけとなれば幸いです。

2. 研修検討ワーキンググループの設置

まず、研修部会が設置されることとなった経緯から話を始めたいと思います。研修部会が設置される前年の平成19年9月20日に開催された第62回総会で、研修部会の前身となる研修検討ワーキンググループ（以下、研修検討WG）の設置が認められました。このWGは、協議会で開催する研修のあり方を検討することが目的で、メンバーは富士大学の井手委員（主査）、秋田大学の飯沼委員、岩手県立大学の福田委員（途中で岩倉委員に交代）、八戸大学の小松委員、宮城学院女子大学の大坂委員、そして私でした。

研修検討WGでは1年をかけ、委員の間での議論と、加盟館に対する「参加しやすい研修会」を実施するためのアンケート調査を通して、検討を行いました。おかげさまでアンケート調査には多くの加盟館の方にご協力頂き、有益な示唆を得ることができました。

その結果、次のような課題が浮かび上がりました。

- ・講演会形式の研修の要望が多いが、参加者自身の発表、討論形式など受身でない実践的な研修への要望も多い。
- ・通常業務のスキルアップができる研修の要望が多い。
- ・総会時の研修の要望が多い。
- ・（特に私立大で）研修参加のための予算、人員、時間的余裕が無くなってきている。

これらの課題を解決するために、研修検討WGでは次の2点を改善案として示しました。

① 集合型研修の充実

- ・参加者自身が発表したり議論できる業務内容別の研修の実施
- ・総会中に、講演会や実質的な課題の検討の場などの研修機会を設ける
- ・研修日程を他の行事と重ならないよう配慮する

② 参加できない方へのフィードバック

- ・資料や成果のウェブサイトでの公開・蓄積
- ・業務相談のためのメーリングリストの運用

これらの改善案を実施すると共に、研修に関する加盟館の要望把握、研修成果公開等の作業を継続的に実行するための研修部会の設置を提言しました。

3. 研修部会の設置と活動内容

(1) 合同研修会の改善

研修検討 WG の提言を受け、平成 20 年 9 月 18 日にいわき明星大学で開催された第 63 回の総会で、研修部会の設置が認められました。さっそく平成 20 年 12 月 12 日には、第 1 回の研修部会を開催しました。メンバーは八戸大学の小松委員（主査）、秋田大学の飯沼委員、岩手県立大学の岩倉委員、宮城学院女子大学の大坂委員、私の 5 名でした。

当時私はせっかく新しく部会を設置したので、新たに業務別研修会を実施してはどうかと考えたのですが、議論の結果、準備や参加の労力を考えると、これまでの合同研修会を見直すことから始めてはどうかとの結論になりました。現実的な考え方だったと思います。

研修部会が設置されてから最初の合同研修会は、平成 21 年 6 月 26 日に八戸大学で開催しました。内容は、基調講演と、参加者がいくつかのグループに分かれての情報交換会でした。これまでは基調講演と数名の方からの事例報告といった形式が合同研修会の定型でしたが、研修検討 WG の提言にあった、参加者自身の意見交換の場を情報交換会として設けました。

情報交換会では、事前に参加者がテーマを選択できるようにし、どのようなことが聞きたいか提出して頂きました。その結果を基にしてグループ分けや役割分担を決めました。

また、参加しやすい研修会とするために、小松主査には開始・終了時刻の考慮、八戸駅からの送迎バスの手配をして頂きました。立食形式の昼食会の開催などもあわせ、小松主査はじめ八戸大学、青森地区の方の献身的な努力により、印象に残る研修会となりました。

翌年の合同研修会は岩手県立大学で実施されました。合同研修会のノウハウがこれまでどのように引き継がれていたか私はわからないのですが、この時は八戸大学の小松委員、岩手県立大学の岩倉委員が共に研修部会の委員であり、お二人の間でスムーズな引き継ぎが行われたと思います。私はこの合同研修会には参加できなかったのですが、アンケート結果（協議会ウェブサイトに掲載されています）からは、基調講演、情報交換会ともに好評だったことがよくわかります。



■東北地区大学図書館協議会ウェブサイト

(<http://www.library.tohoku.ac.jp/tohokuchiku/>)

(2) 研修に参加できない方へのフィードバック

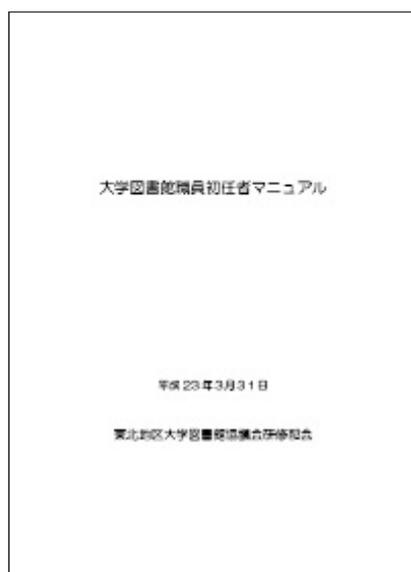
アンケートからは、参加しやすい研修会を開催しても、やはり参加できない職員の方がいらっしゃるごことがわかります。そこで、講義資料やアンケート結果の協議会ウェブサイトへの掲載を、協議会のウェブサイト部会の協力で行いました。少しずつではありますが、研修内容が研修に参加できなかった方にも共有される環境ができてきたと思います。

さらに、飯沼委員の発案により、平成21年12月4日の研修部会の打ち合わせで、初任者職員向けのマニュアルを作成することになりました。協議会では初任者向けのフレッシュ・パーソン・セミナーを開催していますが、参加できない方もいらっしゃいますし、原則的に隔年での開催であるため、採用から受講までの間のフォローをすることも視野に入れ作成することとしたものです。このマニュアルはこの4月に協議会ウェブサイト

で公開されました。内容は

1. 大学図書館の基礎知識
2. 利用者サービス
3. 図書館資料と資料管理
4. 管理運営
5. 大学図書館員として

の全5章からなり、図書館業務全体を50ページほどで手軽に把握できるものとなっています。



■大学図書館職員初任者マニュアル

協議会ウェブサイトからダウンロード可能です。原稿ファイル（Word ファイル）を改変して自館版の作成が可能です。

私は残念ながら作成半ばで委員を離れてしまいほとんど力になることができず、ウェブサイトに公開されてから完成版を拝見しました。完成版の充実ぶりから察すると、飯沼委員、小松主査、また平成22年9月からの新委員の方々の並々ならぬご尽力があったものと思います。

このマニュアルは協議会ウェブサイトから原稿ファイル（Word ファイル）が入手できるので、各館の事情に合わせた図書館用マニュアルとして改変して利用することができます。図書館業務を円滑に行うには、自分の業務だけでなく図書館業務の全体像を把握しておく必要があります。大規模図書館では、特定の業務のみを

担当することも多く、隣の系の業務がつかめていないことも多いのではないのでしょうか。初任者だけでなく、このような方にとっても本マニュアルは有用な内容と言えます。

4. 協議会の研修関連の活動を通じて感じたこと

(1) 情報交換会の意義

これまで、合同研修会のプログラムは、基調講演と数件の事例報告で構成されることが多かったようです。様々な加盟館からいろいろな方が参加されているのに、講師として壇上に立つ数名の方の知恵しか拝借できないのはもったいないと思います。情報交換会で参加者それぞれが聞きたいことを聞きたいだけ聞き、お互いに知っていることを提供することで、参加者の満足感が得られるのではないかと思います。

研修の参加者に情報交換会で聞きたいことを事前に書いて頂くようお願いした際、なかなか書いて頂けないのではと内心思っていたのですが、想像以上に皆さんにいろいろと書いて送って頂きました。講演会形式ですと講師の発表の後、質疑を募ってもなかなか発言がないことがあります（私も発言しづらいですが）、決して思っていることが無いわけではなく、実は皆さんいろいろなことを考えているものです。

八戸大学で開催された合同研修会では、情報交換会の際に自館で作成した図書館利用ガイド（「図書館のすすめ」を改変したもの）を持ってきてくださった方や、お菓子を持ってきてくださった方がいらっしゃいました。こういうものを持って行くと参考になるのではないかと、喜ばれるのではないかとという参加者の方々の自発的な態度が見られました。講演、発表を聞くというスタイルでは恐らく出てこなかった行動だと思います。必要なものを各自が感じ取ることで、有意義な時間になったと思います。

情報交換会は、普段業務をしていて気づいたことを気兼ねなくお互いに伝えあう場になると良いのではないのでしょうか。研修だからと特別な気合いをいれて臨むと、現実とずれた無理な考えが生まれかねないと思います。



■ 「図書館のすすめ—大学図書館利用ガイド—」

協議会ウェブサイトからダウンロード可能なほか、原稿ファイルを各館で改変して自館版の作成が可能です。

(2) 部会と担当地区の関係

合同研修会を実施する際に、研修部会と担当地区（会場館）がどのように役割分担をするかということは、

部会の中で議論になりました。平成 21 年度の合同研修会について検討した時の議事メモには、次のような記録があります。

- ・これまでどおり担当地区、担当館を中心に進めてはどうか。
- ・研修部会から案を出すのは良いが、それを強制するのは良くない。パターン化すると研修が面白くなってしまう。
- ・研修部会の役割が分かりづらい。東北地区における研修の方向性やあり方を検討する場である。合同研修会については、担当地区（担当館）がよりよい研修をするための土台作りを行う。ウェブ上に議事録を掲載するなど広報も必要ではないか。
- ・会場館がスムーズに研修を実施するため、準備事項のチェックリストなどを電子ファイルで引継ぎできると良い。

明確な線引きはしていませんが、前回引き継ぎの際は、研修部会の委員の所属館が合同研修会の会場館であったこともあり、研修ノウハウの引き継ぎはうまくいったと思います。また、研修内容や講師について部会の委員から意見は出しましたが、最終的には開催地区、会場館で自由に決められたため、やりやすかったのではないかと思います。

研修部会と研修会場館がお互いに必要な部分で知恵を出し、任せるところは任せるというやり方は、会場館の方が研修部会に入っていたからこそできたのかもしれない。今後研修部会の委員を選出する時は、会場館（または開催地区）の方を必ず入れるようにすると運営がスムーズに行くと思います。

5. 最後に

私は平成 18 年に、国立情報学研究所の実務研修に参加する機会を得ました。この研修は NII で実務を体験しながら、大学図書館では得られない知見や経験を得るという研修で、4 ヶ月半ほどを NII で過ごしました。この時は東北地区における持続可能な研修実施体制の確立が重要ではないかとの結論を得て、その成果を今後活かすことができればと思っていました。協議会での研修改善の動きはちょうどその時期に始まりました。

ただ、今考えてみると本当に理想的なのは、研修の機会をわざわざ設けなくても、日常的に技能や知識が引き継がれ、また業務の本質について不断の見直しが行なわれている職場環境の実現であると思います。研修部会が解散できる時が来るようにすることが、研修部会の最終目標と言えるかもしれません。

東北地区大学図書館協議会誌によると、加盟館には平成 21 年 3 月 31 日時点で 500 数十名の職員の方がいらっしゃるのことがわかります。特別なことをしなくても、今それぞれが持っているものを出し合えば、その力は計り知れないものになると思います。まだまだそれぞれの方の中だけで、係の中だけで、所属館の中だけで眠っている知恵が数多くあると思います。小説家、吉川英治の座右の銘は「我以外皆我師」という言葉だったそうですが、合同研修会などの場を通じて、お互いの持つ知恵がさらに活かされるようになればと思います。

最後になりましたが、協議会の仕事はあまりプレッシャーを感じずに、楽しく携わることができました。これをやらなくてはいけないということがなく、できる範囲でやったからではないかと思っています。その分他の委員の方にはご迷惑をお掛けしたことと思います。研修アンケート等でご協力頂きました加盟館の皆様、研修検討 WG、研修部会でお世話になりました委員の皆様に感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

東北大学附属図書館総務課
情報企画係長 永井 伸

第 65 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催期日 平成 22 年 9 月 16 日 (木)
会場 国際教養大学 講義棟 Lecture Hall
秋田市雄和椿川字奥椿岱 193 - 2
TEL 018 - 886 - 5907 FAX 018 - 886 - 5912

日 程

1. 受付 12:30 ~ 13:00
2. 開会式 13:00 ~ 13:20

(1)開会の挨拶

当番館 国際教養大学図書館
館長 勝又 美智雄

(2)歓迎のこたば

当番大学 国際教養大学
学長 中嶋 嶺雄

(3)挨拶

常任幹事館 東北大学附属図書館
館長 野家 啓一

3. 議長団選出

4. 総 会

(1) 報告事項 13:20 ~ 13:40

- ① 平成 21 年度会務報告について
- ② 平成 21 年度一般報告及び各部会報告について
- ③ フレッシュ・パーソンセミナー開催報告について
- ④ 研修部会からの報告について
- ⑤ ウェブサイト運用部会からの報告について
- ⑥ その他

(2) 協議事項 13:40 ~ 14:10

- ① 平成 21 年度決算報告 (案) について
- ② 平成 21 年度記念事業基金決算報告 (案) について
- ③ 平成 21 年度会計監査報告について
- ④ 平成 22 年度事業計画 (案) について
- ⑤ 平成 22 年度予算 (案) について
- ⑥ 平成 22 年度記念事業基金予算 (案) について
- ⑦ 平成 22 年度合同研修会について
- ⑧ 第 66 回総会の当番地区 (館) について
- ⑨ 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について
- ⑩ 研修部会委員の改選について
- ⑪ ウェブサイト運用部会委員の改選について
- ⑫ その他

5. 部 会 14:10 ~ 15:40

国立大学部会 講義棟 D101
公立大学部会 講義棟 D103
私立大学部会 講義棟 D102

< 休憩 10 分 >

6. 全体会議 15:50 ~ 16:50

- ① 各部会からの報告
- ② 質疑応答

7. 閉会式 16:50 ~ 17:00

- (1) 次期当番館あいさつ
- (2) 閉会のあいさつ

国際教養大学図書館 館長 勝又 美智雄

※閉会式後、希望者を対象にライブラリーツアーを行います。

所要時間は 20 分程度です。

第65回総会資料

会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

昨年9月仙台白百合女子大学を当番館として開催された第64回総会以降の会務については、次のとおりである。

1. 加盟館数

本協議会の加盟館数は、第64回総会以降、仙台青葉学院短期大学、東北生活文化大学・東北生活文化短期大学及び青森中央学院大学・青森中央短期大学が加盟したことに伴い、加盟館数は現在、国立15館、公立12館、私立37館 計64館となっています。

2. 平成21年度 東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

期 日：平成22年7月16日(金) 12:30～17:00

会 場：岩手県立大学共通講義棟

[基調講演]

「ラーニングコモンズと図書館戦略」

講師 茂出木 理子(東京大学教養学部等図書課長)

[テーマ別情報交換会]

① 学習のための「場」づくり

～学習環境をよりよくするための取組み～

② 学習支援のための人的サービス

～図書館による学習支援を深める取組み～

参加者：国・公・私立各加盟 30館から57名

3. 第3回フレッシュ・パーソンセミナーの開催

日 時：平成21年11月13日(金)

場 所：東北大学附属図書館

参加者：国・公・私立各加盟 18館から31名

4. 会誌の発行

東北地区大学図書館協議会誌 第61号を平成22年6月に450部発行し、加盟64館及び関係機関等へ発送した。

5. 幹事会について

① 平成22年7月29日(木) (於：東北大学附属図書館)

(1)第65回総会及び部会の議題等について

(2)その他

② 平成22年9月16日(木) 開催予定

(於：国際教養大学)

(1)第64回総会及び部会の運営について

(2)その他

6. 記念事業基金の造成について

平成21年度通常会計から記念事業基金として、94,500円を繰り入れた。

7. 平成21年度会計監査について

平成22年9月3日東北大学附属図書館において、会計

監査館である福島県立医科大学附属学術情報センター及び石巻専修大学図書館による会計監査を受けた。

一 般 報 告

—— 国・公・私立大学図書館の動き ——

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○会議等関係

1. 外国雑誌センター館会議について
2. 日本医学図書館協会総会について
3. その他

○研修・講習会等関係

1. 目録システム講習会

[図書コース]

- 期 間：第1回 平成22年5月19日(水)
～5月21日(金)
第2回 平成22年6月16日(水)
～6月18日(金)
第3回 平成22年7月14日(水)
～7月16日(金)
第4回 平成22年10月13日(水)
～10月15日(金)
第5回 平成22年12月15日(水)
～12月17日(金)

[雑誌コース]

- 期 間：第1回 平成22年5月26日(水)
～5月28日(金)
第2回 平成22年7月21日(水)
～7月23日(金)
第3回 平成22年8月18日(水)
～8月20日(金)
第4回 平成22年12月1日(水)
～12月3日(金)

場 所：国立情報学研究所

2. 目録システム地域講習会

[図書コース]

- 期 間：平成22年6月9日(水)～6月11日(金)
場 所：東北大学附属図書館

3. ILLシステム講習会

- 期 間：第1回 平成22年6月7日(月)
第2回 平成22年10月18日(月)

場 所：国立情報学研究所

4. 学術ポータル担当者研修
期 間：平成22年8月25日（水）～8月27日（金）
場 所：国立情報学研究所
5. 情報処理技術セミナー
期 間：平成22年7月8日（木）～7月9日（金）
平成22年11月4日（木）～11月5日（金）
場 所：国立情報学研究所
6. 大学図書館職員短期研修
期 間：平成22年11月9日（火）～11月12日（金）
場 所：東京大学
7. 学術情報リテラシー教育担当者研修
期 間：平成22年11月17日（水）～11月19日（金）
場 所：国立情報学研究所
8. NACSIS-CAT/ILLワークショップ
期 間：平成22年12月8日（水）～12月10日（金）
場 所：国立情報学研究所
9. 平成22年度大学図書館職員長期研修
期 間：平成22年7月5日（月）～7月16日（金）
場 所：筑波大学
10. 平成22年度漢籍整理長期研修
期 間：平成22年6月15日（月）～6月18日（金）
9月6日（月）～9月10日（金）
場 所：東京大学東洋文化研究所
11. 平成22年度漢籍担当職員講習会（初級、中級）
期 間：初級 平成22年10月4日（月）
～10月8日（金）
中級 平成22年11月8日（月）
～11月12日（金）
場 所：京都大学人文科学研究所附属漢字情報
研究センター
12. 第30回西洋社会科学古典資料講習会
期 間：平成22年11月9日（火）～11月12日（金）
場 所：一橋大学佐野書院
13. 第11回「西洋古典資料保存講習会」
期 間：平成22年7月5日（月）～7月7日（水）
場 所：一橋大学図書館
14. 平成22年度著作権セミナー
期 間：平成22年7月27日（火）
場 所：青森県観光物産館アスパム
14. 平成22年度図書館等職員著作権実務講習会
東京会場
期 間：平成22年10月27日（水）
場 所：文部科学省3階講堂

国立大学部会関係

（幹事館：東北大学附属図書館，福島大学附属図書館）

○第8回国立七大学附属図書館長会議

（平成21年10月23日 東北大学）

協議事項

1. 電子ジャーナル及びオープンアクセスについて
 - ・大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について
 - ・電子ジャーナル契約の取扱いについて
 - ・オープンアクセスを推進させるための機関リポジトリの充実について
2. 大学図書館の組織運営について
 - ・今後の大学図書館経営の諸問題について
 - ・大学全体の図書館政策について協議する組織の在り方
3. その他

○第42回国立七大学附属図書館事務部課長会議

（平成21年10月23日 東北大学）

協議事項

1. 電子ジャーナルについて
2. 貴重資料の修復と保存環境について
3. 人材育成・組織運営について

○第83次国立七大学附属図書館協議会

（平成21年10月23日 東北大学）

協議事項

1. 電子ジャーナルについて
2. 学生支援について
3. 大学図書館の組織運営について

○平成21年度国立大学図書館協会東北地区協会事務連絡
会議

（平成21年12月10日 宮城教育大学）

協議事項

1. 東北地区における図書館職員の育成・確保について
2. 平成22年度目録システム地域講習会について

○第41回国立大学図書館協会東北地区協会総会

（平成22年4月22日 福島大学）

協議事項

1. 国立大学図書館協会東北地区協会理事・監事・当
番館について
2. 平成22年度東北地区協会の事業について

3. 第57回国立大学図書館協会総会に向けての準備事項等について
4. 市場化テストと大学図書館業務について
5. 図書館職員の育成確保に係る諸課題について
6. 学術情報流通に係る諸課題について

○第57回国立大学図書館協会総会

(平成22年6月18日 札幌パークホテル)

当番地区 北海道地区協会

当番館 北海道大学附属図書館

協議事項

1. 平成21年度決算報告・同監査報告について
 2. 平成21年度記念基金収支決算報告・同監査報告について
 3. 平成22年度事業計画(案)について
- (1)委員会の役割と活動

- ① 総務委員会：協会の組織・運営及び国内他組織との渉外に関する事項
- ② 人材委員会：職員の資質向上に関する事項
- ③ 学術情報委員会：学術情報資源に関する事項
- ④ 学術情報流通改革検討委員会の設置(平成21、22年度)
 - ・コンソーシアム連携による組織の強化
 - ・ビックディールに替わる新たな契約モデルの策定
 - ・バックファイルの戦略的・体系的整備

- (2)館長フォーラム、マネジメント・セミナーの開催について

期 日：平成22年6月19日(土)

会 場：札幌パークホテル

開催テーマ：

○館長フォーラム

- ① 電子ジャーナルの価格高騰にどう対処するかー研究者の立場から考えるー
- ② 学内学術情報の収集・流通・活用・発信システムと図書館の役割

○マネジメント・セミナー

大学図書館管理職の新たな意識改革

- (3)国立大学図書館協会シンポジウムの開催について

- ・開催時期：平成22年11月頃
- ・会 場：東地区 関東・東京地区 会場は未定
西地区 近畿地区 ”
- ・テ ー マ：大学図書館職員の「強み」と「弱み」
：コアコンピテンシーを考える

- (4)学術情報流通改革シンポジウムの開催について

- (5)機関リポジトリの普及・広報資料の作成
- (6)地区活動への助成について
- (7)海外派遣事業について

4. 平成22年度予算(案)について

*総会ワークショップ

- A 今後の大学図書館の業務運営のあり方について
- B 大学図書館の新たなサービス展開と図書館組織・人材育成について

○平成22年度外国雑誌センター館会議

(平成22年5月21日 東京工業大学)

協議事項

1. 外国雑誌センター館活動評価(2009年度版)について
2. 外国雑誌センター館の役割について
3. その他

○第81回医学図書館協会総会

(平成22年5月28・29日 日本歯科大学)

協議事項

1. 平成21年度事業報告について
2. 平成21年度決算報告・監査報告について
3. 平成22年度事業計画(案)について
4. 平成22年度予算(案)について

その他

1. 専門職能力開発に関するアンケート調査の実施報告
2. 平成22年度～24年度中期重点事業(目標)
3. 分科会
 - A これからの電子メディア
 - B 医学図書館員の専門性とキャリア育成
 - C 図書館のアメニティー
 - D 病院図書館と看護図書館の連携

公立大学部会関係

(幹事館 青森県立保健大学附属図書館)

○第20回(平成22年度)公立大学協会図書館協議会事務長会

期 日：平成22年6月3日(木)

会 場：ホテル名古屋ガーデンパレス

開催館：愛知県立大学学術情報センター

協議事項

- (1) 相互協力委員会の活動について
- (2) 国立国会図書館による学位論文(博士)のデジタル化事業について

承合事項

- (1) 図書資産の管理と有効利用について
- (2) 閲覧室の照度
- (3) 個室の設置数、利用の制限時間
- (4) グループ学習室の設置数、利用の制限時間

○第42回（平成22年度）公立大学協会図書館協議会総会

期 日：平成22年6月4日（金）

会 場：ホテル名古屋ガーデンパレス

開催館：愛知県立大学学術情報センター

文部科学省行政説明

文部科学省研究振興局情報課学術基盤整備室室長補佐

丸山 修一 氏

基調講演

「機関リポジトリについて」

福井大学附属図書館学術情報課長 高島 学 氏

福井大学附属図書館学術情報課企画管理係長

水上 満雄 氏

議事

報告事項

- (1) 平成21年度事業報告
- (2) 平成21年度決算報告及び監査報告
- (3) 相互協力委員会報告
- (4) H P 委員会報告
- (5) 事務長会報告
- (6) 大学図書館職員長期研修に対する申し入れについて
- (7) 国立国会図書館による学位論文（博士）のデジタル化事業について

協議事項

- (1) 平成22年度事業計画（案）について
- (2) 平成22年度予算（案）について
- (3) 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
- (4) 公立大学協会図書館協議会研修会について
- (5) 筑波大学主催大学図書館職員長期研修参加者の推薦について
- (6) 平成22年度相互協力委員会について
- (7) 平成22年度H P 委員会について
- (8) 役員を選出について
- (9) 関係委員会委員等の推薦について
- (10) 「内規申合せ事項」の改正について
- (11) 相互協力委員会の活動について

○平成22年度公立短期大学図書館協議会総会

期 日：平成22年8月19日（木）

会 場：岐阜市立女子短期大学

開催館：長野県短期大学附属図書館

議 題

- (1) 報告事項
 - ア 役員紹介
 - イ 平成21年度事業報告及び決算報告
 - ウ 平成22年度地区協議会活動報告
- (2) 協議事項
 - ア 平成22年度事業計画及び予算（案）
 - イ 提案議題
- (3) その他

○平成22年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期 日：平成22年8月20日（金）

会 場：岐阜市立女子短期大学

開催館：岐阜市立女子短期大学附属図書館

講 演

「大学図書館の経営と最近の課題－9年間の館長の経験から－」

名古屋大学情報戦略室長（前図書館長）伊藤 義人 氏

○平成22年度公立大学協会図書館協議会東部地区館会議

期 日：平成22年8月27日（金）

会 場：宮城大学大和キャンパス

担当館：宮城大学総合情報センター

協議事項

- (1) 東部地区における役員ローテーションについて
- (2) 関係委員会派遣委員について

承合事項

- (1) 国立国会図書館学位論文（博士）のデジタル化に関わる共通許諾手続きの取り組み状況について
- (2) 延滞資料の督促における「回収不能」の判断について
- (3) 図書館情報システムについて

○平成22年度公立大学協会図書館協議会研修会

期 日：平成22年9月3日（金）

会 場：都留文科大学

担当館：都留文科大学附属図書館

テーマ「大学教育と図書館」－学習環境の充実－

私立大学部会関係

(幹事館：盛岡大学図書館・仙台大学附属図書館)

○私立大学図書館協会・東地区部会を中心に

(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

加盟校 520校(2010年4月1日現在) 東地区部会 259校

*東北地区加盟校(50音順) 23校

秋田看護福祉大学、石巻専修大学、いわき明星大学、
奥羽大学、郡山女子大学、尚絅学院大学、仙台白百合
女子大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工
業大学、東北女子大学、東北福祉大学、東北文化学園
大学、東北薬科大学、日本大学工学部、日本赤十字秋
田看護大学、ノースアジア大学、八戸工業大学、八戸
大学・八戸短期大学、東日本国際大学、富士大学、宮
城学院女子大学、盛岡大学

○第70回(2009年度)総会・研究大会

期 日：2009年8月27日(木)～28日(金)

会 場：佛教大学

メインテーマ：「情報ポータルとしてのハイブリッド大
学図書館」

総 会

- I 協会賞(2008年度審査決定・2009年度表彰)
該当なし
- II 研究助成(2009年度助成対象) 3件
- III 会務報告(2008年度)
- IV 委員会報告
- V 協会関連事項報告
- VI 2009年度私立大学図書館協会役員校、委員会お
よび協会関連団体等委員
- VII 総会議案
第1号議案 2008年度一般会計・特別会計決算報
告(案)について
第2号議案 2009年度事業計画(案)について
第3号議案 2009年度一般会計・特別会計予算(案)
について
第4号議案 新規加盟校および脱退校について

記念講演

「京都のまつりとくらしー水と火をめぐる民俗信仰ー」
佛教大学文学部 教授 八木 透 氏

研究大会

- 1 研究助成発表(1)
「LibQUAL+®の日本における実施とその評価」
慶應義塾大学メディアセンター 酒井 由紀子 氏
- 2 研究助成発表(2)
「オンライン蔵書目録及び図書館ホームページの

ユーザビリティ評価」

明治大学図書館 矢野 恵子 氏・土田 大輔 氏

3 2008年度海外集合研修報告

報告者 文教大学越谷図書館 石井 円 氏
武庫川女子大学附属図書館 川崎 安子 氏
関西学院大学図書館 角田 貴彦 氏
東海大学付属図書館 葉山きい子 氏
明治学院大学図書館 渡辺 順子 氏

4 講演(1)

「 지식기반 사회를 위한 미래 도서관의 개념 모델
(Conceptual Model towards future Library in
Knowledge-based Society/)
知識基盤社会における未来型図書館の概念モデル」
大韓民国・圓光大学校 図書館司書・情報学博士
イ・ヒョンシル 氏

5 講演(2)

「千代田区Web図書館
ー魅力ある場所にしていくためにはー」
千代田区立千代田図書館
日比谷図書館開設準備担当 満尾 哲広 氏

○2009年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会

テーマ：「行きたくなる図書館、利用したくなる図書館
ーLibrary2.0に向けてー」

期 日：2009年10月22日(木)～10月23日(金)

会 場：東京農業大学

参加者：107大学 112名

第1日

基調講演：「大学図書館の21世紀：大学図書館員は何
をしなければならないか」

千葉大学文学部 教授 竹内 比呂也 氏

講 演：「関係性マネジメントのための利用者調査を
目指して」

慶應義塾大学理工学部メディアセンター

上岡 真紀子 氏

事例報告：「図書館員が図書館建設に関わった！」

獨協大学総務課 課長補佐 萬谷 衣加 氏

事例報告：「ボランティアは図書館を変えたか？ー導
入から14年ー」

筑波大学附属図書館情報管理課

専門職員 仲川 敦子 氏

事例報告：「図書館ツアービデオを活用した利用者教
育について」

亜細亜大学図書館学術情報部学術情報課

副主事 藤懸 徳仁 氏

第2日

講演：「Library2.0と次世代OPAC」

慶應義塾大学文学部 准教授 原田 隆史 氏

講演：「図書館Webサービスの連携」

九州工業大学大学院工学研究院

准教授 井上 創造 氏

講演：「ポッドキャスト@千葉大学図書館」

千葉大学情報部情報サービス課 岩井 愛子 氏

講演：「ネットワーク時代のレファレンスサービス」

明治大学文学部 教授 齋藤 泰則 氏

○2009年度研究分科会報告大会

期 日：2009年12月14日（月）～15日（火）

会 場：東京理科大学

参加数：67校 106名

発表者：36名

研究発表：理工学研究分科会他 全11分科会

○私立大学図書館協会2010年度東地区部会総会・館長会・研究講演会

期 日：2010年6月11日（金）

会 場：明星大学

1 部会総会 議事

(1)報告事項

ア 2009年度 東地区部会会務報告及び研究部活動報告

イ 2009年度 協会関係会務報告

ウ 2010年度 協会役員校、委員会及び協会関連団体委員

エ 私立大学図書館協会組織図

(2)協議事項

ア 2009年度 東地区部会決算報告及び監査結果

イ 2009年度 東地区部会研究部決算報告及び監査結果

ウ 2010年度 東地区部会事業計画（案）及び予算（案）

エ 2010年度 東地区部会研究部活動計画（案）及び予算（案）

(3)その他

2 館長会

テーマ：「大学図書館をどのように活用しているか、活用していくか」

3 研究講演会

テーマ：「大学図書館の将来について」

講 演：「研究者の情報行動と学術情報流通の現況と

将来：図書館としてどう考えるのか」

慶應義塾大学文学部 教授 倉田 敬子 氏

講 演：「研究者・学生・大学にとっての10年後の大学図書館とは」

千葉大学文学部 教授 土屋 俊 氏

平成21年度（第3回）東北地区大学図書館協議会

フレッシュ・パーソン・セミナー開催要項

1. 趣旨

東北地区の大学等の図書館職員として採用された職員が、最初に受ける地区全体の研修として位置づける。所属機関を問わず必要とされる図書館職員としての基本的な知識を身につけると同時に、地区内の職員との交流の機会を設け、人的ネットワークの形成を促すことを目的とする。平成17年度、平成19年度に引き続き、今回は3回目の開催となる。

2. 対象者

東北地区大学図書館協議会に加盟している大学等の図書館に採用及び配属等されて概ね2年未満の職員（非常勤職員を含む。）

3. 開催時期・場所

平成21年11月13日（金）

東北大学附属図書館2号館4階会議室

4. 主催

東北地区大学図書館協議会

5. 事務局

東北大学附属図書館

6. セミナー内容

図書館職員としての基礎知識及びカレントトピックス

7. その他

参加者の旅費は、各大学法人等の負担とする

平成21年度（第3回）東北地区大学図書館協議会

フレッシュ・パーソン・セミナーカリキュラム

11月13日（金）

時 間	内 容 等	備 考
10：00 ～ 10：30	受付（名札、資料等配付）	東北大学附属図書館 2号館4階会議室前
10：30 ～ 10：35	開講式・事務連絡	
10：35 ～ 11：25	①大学図書館の役割と課題	東北学院大学中央図書館 須田 充彦
11：30 ～ 12：20	②カウンターに立つ前に心にとめておきたいポイント集	東北大学附属図書館 図書情報係長 渡邊 愛子

時 間	内 容 等	備 考
12:20 ～ 13:20	昼休み（昼食会）	
13:20 ～ 14:10	③目録データの作成と I L L による資料の活用	東北大学金属材料研究所 図書係長 勝本 加奈子
14:15 ～ 15:05	④東北福祉大学図書館におけ る雑誌業務の実態	東北福祉大学図書館 雑誌担当 後藤 貴志
15:05 ～ 15:20	休憩	
15:20 ～ 16:45	班別討議（発表・休憩含む） テーマ 「学生にもっと図書館を利用 してもらうために、私たち図 書館員は今何をすべきか」	
16:45 ～ 16:50	閉講式	
16:50 ～ 17:20	館内見学	希望者

東北地区大学図書館協議会研修部会報告

{委員 平成22年4月1日現在} * 印は主査

永井 伸 (東北大学)

飯沼 邦恵 (秋田大学)

岩倉 琴重 (岩手県立大学)

小松 良重 * (八戸大学・八戸短期大学)

大坂 田茂子 (宮城学院女子大学)

『部会開催』

月 日	摘 要
平成 21 年 12 月 4 日	議 題 1. 平成 21 年度合同研修会について 2. フレッシュ・パーソンセミナーについて 3. 初心者向け小冊子について 4. その他
平成 22 年 7 月 1 日	議 題 1. 平成 21 年度合同研修会について 2. 初心者用マニュアルについて 3. その他

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会報告

{部会委員 平成22年4月1日現在} * 印はウェブ管理者

堀野 正太 * (東北大学)

佐藤 亜紀 (山形大学)

西戸 雅博 (福島県立医科大学)

須田 充彦 (東北学院大学)

稲妻 晶子 (東北福祉大学)

月 日	摘 要
平成 22 年 3 月 9 日	議 題 1. ウェブサイト運用部会の今後の活動について 2. その他

[平成 21 年度 決 算 書]

自平成21年9月1日
至平成22年8月31日

項 目	21年度予算額	21年度決算額	増 減 (△)	摘 要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	340,314	340,314	0	
会 費	960,000	945,000	△15,000	21年度分 63 館で決算
雑 収 入	160,750	160,239	△511	協賛広告 61 号 (8 社) 預金利息 (239円)
計	1,461,064	1,445,553	△15,511	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	418,500	△31,500	会誌第 61 号
總會補助費	200,000	200,000	0	第 64 回(仙台白百合女子大学)100,000円、 第 65 回(前渡し金、国際教養大学)100,000円
事業費	285,000	190,000	△95,000	合同研修会(岩手県立大学)、 フレッシュ・パーソンセミナー開催補助 地域講習会(図書コース)補助
部会活動費	150,000	126,520	△23,480	研修部会及びウェブサイト運用部会会議旅費
事務費	60,000	60,000	0	仙台白百合女子大学(第64回当番館) 東北大学(事務局)
通信運搬費	30,000	12,113	△17,887	会誌送付及び郵便料
積立繰入金	96,000	94,500	△1,500	記念事業基金に繰入
会議費	40,000	25,701	△14,299	幹事会(2回)
消耗品費	10,000	1,118	△8,882	会誌送付用封筒
雑 費	30,000	28,940	△1,060	会計監査交通費補助
予備費	110,064	0	△110,064	
次年度繰越		288,161	288,161	
計	1,461,064	1,445,553	△15,511	

平成 21 年度決算書は、関係帳簿、証拠書類を精査した結果、正確であることを認めます。

平成 22 年 9 月 3 日

会計監査館 福島県立医科大学附属学術情報センター ㊟
石巻専修大学図書館 ㊟

[平成 21 年度 記念事業基金 決 算 書]

自 平成21年9月1日
至 平成22年8月31日

項 目	21年度予算額	21年度決算額	増 減 (△)	摘 要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	531,335	531,335	0	
積 立 金	96,000	94,500	△1,500	通常会計より繰入(63館分)
利 息	488	199	△289	普通預金利子(199円)
計	627,823	626,034	△1,789	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	627,823	626,034	△1,789	
計	627,823	626,034	△1,789	

平成 21 年度決算書は、関係帳簿、証拠書類を精査した結果、正確であることを認めます。

平成 22 年 9 月 3 日

会計監査館 福島県立医科大学附属学術情報センター ㊟
石巻専修大学図書館 ㊟

4. 平成22年度事業計画（案）

1 第65回総会の開催

平成22年9月16日（木） 国際教養大学を当番館に
実施

2 会誌の刊行

第62号 平成23年5月の予定

3 職員の表彰

① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に
優れた業績のあった者

② 協議会の運営、発展のために功績のあった者

4 研修会の開催（国・公・私立大学合同）

開催当番 秋田地区の予定

5 記念事業基金の造成

平成22年度通常会計から記念事業基金(97,500円)
を繰り入れ予定

[平成22年度予算書]

自 平成22年9月1日
至 平成23年8月31日

項目	21年度予算額	22年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	340,314	288,161	△52,153	
会費	960,000	975,000	15,000	22年度会費64館分及び21年度会費1館分
雑収入	160,750	160,239	△511	協賛広告62号(8社)預金利息(239円)
計	1,461,064	1,423,400	△37,664	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	450,000	0	会誌62号
總會補助費	200,000	200,000	0	第65回(国際教養大学)100,000円、 第66回(前渡し金、山形大学)100,000円
事業費	285,000	285,000	0	合同研修会、表彰関係、 地域講習会補助(図書コース等)
部会活動費	150,000	150,000	0	研修部会及びウェブサイト運用部会旅費等
事務費	60,000	60,000	0	国際教養大学(当番館)、東北大学(事務局)
通信運搬費	30,000	20,000	△10,000	郵送料等
積立繰入金	96,000	97,500	1,500	記念事業基金に繰入
会議費	40,000	30,000	△10,000	幹事会(2回)
消耗品費	10,000	10,000	0	会誌送付用封筒等
雑費	30,000	30,000	0	会計監査交通費補助
予備費	110,064	90,900	△19,164	
計	1,461,064	1,423,400	△37,664	

[平成22年度記念事業基金予算書(案)]

自 平成22年9月1日
至 平成23年8月31日

項目	21年度予算額	22年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	531,335	626,034	94,699	
積立金	96,000	97,500	1,500	通常会計から繰入
利息	488	199	△289	普通預金利子(199円)
計	627,823	723,733	95,910	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	627,823	723,733	95,910	
計	627,823	723,733	95,910	

協議 題 (総 会)

7. 平成22年度合同研修会について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

秋田区が当番予定地区になっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会 場 大 学	備 考
21	岩 手	岩 手 県 立 大 学	
22	秋 田		
23	山 形		
24	福 島		
25	宮 城		
26	青 森		
27	岩 手		
28	秋 田		
29	山 形		
30	福 島		

平成22年度～30年度までの開催当番地区を確認願いたい。

注：会場大学については、当該開催地区において協議するものとする。

8. 第66回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

1) 山形地区(山形大学)が当番となっているので、確認願いたい。

東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館)予定

(平成21年9月17日承認)

回	年度	当番地区	会 場 大 学	備 考
64	21	宮 城	仙台白百合女子大学	
65	22	秋 田	国際教養大学	
66	23	山 形	山 形 大 学	
67	24	宮 城		
68	25	青 森		
69	26	岩 手		
70	27	宮 城		
71	28	福 島		
72	29	秋 田		
73	30	宮 城		
74	31	山 形		

注：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

2) 開催地区のローテーションの確認について

① 宮城地区は、他地区より大学の数も多いので3年に1回割り振る。

② その他の地区は、次のローテーションによる。

青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、山形地区

9. 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

国立大学図書館協会東北地区協会主催の研修について、本協議会との連携を図り、加盟館職員の資質の向上と人的ネットワークをこれまで以上に構築するため講演依頼を提案するものです。

なお、このことについては、各部会において協議していただき、全体会議で報告願う。

10. 研修部会委員の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項(平成20年9月18日制定)第5条の規定に基づき研修部会委員の任期(2年)が満了になることに伴い、改選をお願いしたい。

なお、委員の改選については、各部会において協議していただき、全体会議で報告願う。

要項に基づき

国立大学部会から 2名

公立大学部会から 1名

私立大学部会から 2名

の選出となります。

11. ウェブサイト運用部会委員の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項(平成20年9月18日制定)第5条の規定に基づきウェブサイト運用部会委員の任期(2年)が満了になることに伴い改選をお願いしたい。

なお、委員の改選については、各部会において協議していただき、全体会議で報告願う。

要項に基づき

国立大学部会から 2名

公立大学部会から 1名

私立大学部会から 2名

の選出となります。

協 議 題 (国立・公立・私立大学部会)

1. 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援
依頼について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

2. 研修部会委員の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

3. ウェブサイト運用部会委員の改選について

(常任幹事館 東北大学附属図書館)

(提案理由)

(総会の席で提案理由説明)

私 立 大 学 部 会

承合事項 (部会) 【別添配付資料参照】

(尚綱学院大学図書館)

案 件	1. 寄贈本を蔵書登録 (所蔵登録) していますか。 2. 寄贈本の備品登録で金額が不明の場合はどうしていますか。
提 案 理 由	1. 寄贈本、約 (6,000 冊 (和書出版年 1950 年以前)、ドイツ語等の外国書出版 1890 ~ 1940) の受入れを予定している。 2. 通常の受入れで定価がわからない場合、備品登録ででは、1000 円としている。

回答大学名

- Q1 寄贈本を蔵書登録 (所蔵登録) していますか。
 行っている。
 行っていない。
- Q2 寄贈本の備品登録で金額が不明の場合はどうしていますか。
 図書館で定めている受入評価算定基準に基づいて行っている。
 → 基準を作成している場合、差し支えがなければ、送付願います。
 寄贈本の種類によりその都度判断している。
 その他
 (具体的に行っている場合の方法を記入願います。)
- Q3 寄贈本の受入基準 (冊数等) を作成していますか
 作成している。
 → 作成している場合、内容はどのようなものか。差し支えなければ、送付願います。
 作成していない。

承合事項 (部会) 【別添承合事項資料参照】

(青森中央学院大学・

青森中央短期大学図書館情報センター)

案 件	携帯電話を利用したサービスについて
提 案 理 由	携帯電話を活用した図書館サービスを検討しています。既にそのようなサービスを実施されている館がございましたら、どのようなことをされているのか、活用している学生の反応などにつきまして、ご教示願います。

回答大学名

- Q1 携帯電話を利用したサービスを行っていますか。
 ① 行っている
 ② 行っていない →Q3へ
- Q2 Q1①に回答した館への質問
 それはどのようなサービスですか。
- Q3 利用者への連絡手段として、携帯電話のメールアドレスを利用していますか。
 ① 利用している →Q5へ
 ② 利用していないが、興味はある →Q4へ
 ③ 利用するつもりはない →Q4へ
- Q4 Q3②または③に回答した館への質問
 なぜ利用していないのか、主な理由を、ご教示願います。また学生への連絡方法を、ご教示願います。 →Q7へ
- Q5 Q3①に回答した館への質問
 利用していてトラブルなどはありますか。ある場合は、対処方法も、ご教示願います。
- Q6 図書館独自で携帯電話のアドレスを入手している館は、アドレスの入手方法をご教示願います。
- Q7 その他、参考となるようなことがありましたらご記入願います。

第 65 回東北地区大学図書館協議会総会議事要録

開会のあいさつ

国際教養大学図書館 館長 勝 又 美智雄

皆さん、こんにちは。国際教養大学の館長の勝又です。今日は遠路はるばるとい方が多いと思いますけれども、よくいらっしゃいました。心から歓迎いたします。うちの大学自体は2004年に開学いたしましたので丸6年経って、今7年目という非常に若い大学です。ご覧のとおり周りを見れば秋田杉に囲まれている、ちょっと人里離れたところで、近くには飲み屋もパチンコ屋もマージャン屋も何もないところで、ここの学生はもう勉強するしかない、という環境です。

学生の数自体も、最初は定員100人だったんですけども、すぐに150人に増やしまして、それで約170~80人入ってくるということで、非常にこじんまりとしたものですが、図書館も全国の大学ではうちだけだと思いますけれども、24時間365日オープンしていて、学生が自由に使えます。一般の人も、普通の日でも午後10時まででは使えることにして大きなトラブルもなく、むしろ非常に成果を上げていると自負しております。

そういうところで65回目の大学図書館協議会の総会を開くことが出来たのは非常に我々としても嬉しいことですので、皆さん今日一日、協議事項、報告事項をまとめられた上で、ぜひ、ちょっとした時間、図書館及び教室をみていただきたい。会場になっているこの建物は講義棟で、授業をあちこちの部屋でやっております。協議会の部会は国立部会、公立部会、私立部会とありますけれども、その下の教室は普段どおり使っています。本当は今日は私も授業をやる日なのですが、休講にしています。とにかく、ちょっとした時間の合間に、各教室を自由にご覧いただきたいと思います。

そういうことで今日一日、秋田の国際教養大学に来てちょっと良かったなというふうな思いをしていただければ幸いです。では、今日は、よろしく願います。ありがとうございました。

司会より、通常であれば歓迎のことばとなるが、交通の事情により国際教養大学学長が遅れたため、幹事館あいさつを先に行うとの説明がなされた。

常任幹事館あいさつ

東北大学附属図書館 館長 野 家 啓 一

ただいまご紹介いただきました常任幹事館を務めております東北大学附属図書館長の野家でございます。

今日は遠路、またお忙しいところを東北地区大学図書館協議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

それから、この素晴らしい会場をご提供ご準備いただきました国際教養大学学長の中嶋嶺雄先生、図書館長の勝又美智雄先生に厚く御礼を申し上げます。

先ほど午前中に2階の教室で幹事会を開かせて頂きました。この建物に入ってくるなり秋田杉の香りがいたしまして、教室で会議をしている最中も森林浴をしているような気分になり、とてもさわやかな空気の中で今回の協議会が開かれますことを大変嬉しく思っております。

時間がありましたので図書館の方も拝見しましたが、秋田杉を組み合わせた素晴らしいデザインの建物で、しかも新着図書のコナーを見ましたら、ブッシュ大統領夫人の回想録があるかと思うと、その隣に地元出身の歴史家内藤湖南の全集が並んでおりました。グローバルとローカルを結びつけた「グローバル」という言葉がありますけれども、まさに評判通り国際的な面と地元密着の面が両立している大学だなという印象を持ちました。

今年は「電子書籍元年」と言われておまして、すでに皆さんの中にはiPadをお使いの方もいらっしゃると思いますが、私はこの間初めてiPadに触る機会がありましたが、使ってみると確かに便利です。画面に触っただけでページがめくれますし、それから文字が自由に拡大できますので、老眼鏡がないと文庫本が読めない私のような者にとっては大変助かります。テレビで報道していましたが、電子書籍は700円で230冊が購入できるということですから1冊3円ほどでしょうか、そういう安い値段でシェークスピアから夏目漱石まで買えることになり、それが一般に普及すると本当に図書館はいらなくなるのではないかという感覚に私自身がなりました。

もちろん、図書館には図書館の固有の役割というものがあります。ただ、ボルヘスというアルゼンチンの作家が「バベルの図書館」という短編を書いており、その中で世界中の図書館におさめられた書籍が薄い1冊の本になるという夢を描いておりましたけれども、グーグルの最近の動きなどを見ておきますと、本当にiPadでその夢が実現するのではないかという錯覚を抱かされました。

図書館固有の役割には、むしろ書籍の利用と保存という2つの面があって、貴重な知的遺産の保存という面はこれから益々重要になるかと思うのですが、もう一方の利用の面ではiPadのような機器が普及し始めますと、これまでのような利用形態は変わらざるを得ないのかな、と

いう気がしております。

ただし、書籍や雑誌の電子化にはやはり功罪の両面がありまして、皆様ご苦労されていると思いますが、電子ジャーナルの高騰化は頭の痛い問題で、個々の大学では維持できないような金額になっていることはご承知の通りです。しかも毎年5%ずつ値上がりをしている状況ですし、どの大学図書館も抜本的な対応を迫られています。また、活字の電子化も進行して携帯電話で新聞が読めるようになり、アメリカではここ何年かの間に新聞社が11社倒産して100を超える新聞が廃刊になったと伝えられています。電子情報が溢れてきますと、まず情報の選択が大変重要な課題になってきますし、情報の質も「悪貨が良貨を駆逐する」ではありませんが、劣化していきます。ですから電子情報化というのは必ずしもプラスの面だけではなくてマイナスの面も抱えております。ですから電子化のプラスとマイナス、功罪を良く見極めながら、これから学習支援と研究支援を基本とする大学図書館がどういったポジティブな未来像を描いていくかという課題を我々が背負わされたのが「電子書籍元年」の今年であるのかなという思いを強くしています。

そうすると大学図書館の役割は何なのかということになるわけですが、『AERA』という雑誌の先週号(9月13日)が「こんな大学・学部に入りたい」という特集をしていました。ご覧になった方もおられるかと思いますが、国際教養大学も就職率の高い大学の代表として取り上げられておりました。

その記事の中で東京大学の山内祐平先生という方が、これからの大学に求められる3つの施設というか、3種の神器を挙げておられます。1つ目は「アクティブ・ラーニング・スタジオ」で、これは机や椅子が自由に動かすことができ、グループワークやディスカッションなど多様な目的にすぐに編成変えできるような教室のことです。それから第2は図書館の「ラーニング・コモンズ」。これまで図書館は静かに座って孤独の中で学習するのが基本でしたが、最近では学生同士のグループ学習やディスカッションができるような場が求められており、これが「ラーニング・コモンズ」と呼ばれます。先ほど拝見しましたらこの国際教養大学の図書館にもちゃんと「グループスタディ・ルーム」というものが備え付けられておりました。3番目が「コミュニケーションスペース」といって、放課後とか休み時間に学生が集まって自由にコミュニケーションができるようなラウンジ。

これら3つの設備を合わせると、よく「アメニティ空間」ということが言われますが、そういう場を大学が提供することが非常に大きな課題になっていることがわかりま

す。オープンキャンパスなどでは、高校生たちがそういう設備がきちんと備え付けられているかどうかをチェックし見極めているそうです。そのような記事を読みまして、図書館の方もコミュニケーションスペースあるいはアメニティ空間としての役割をこれからは非常に重要な機能として充実を目指さなければならないという気がした次第です。

本日のこの協議会は、国立・公立・私立の大学図書館の関係者が一堂に会する年に一度の貴重な機会です。そのような場でこれからの大学図書館、未来の図書館のあり方をそれぞれの事情を踏まえながら活発にご議論いただければありがたいと思っております。

少し長くなってしまいましたが、これで常任幹事館からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

歓迎のことば

国際教養大学 学長 中嶋 嶺 雄

学長の中嶋です。どうも皆さん良く来てくださいました。

新設大学でこういう大きな図書館関係の会合が開かれるというのは、あまり例がないということでもあります。皆さん方にこうして来ていただいて大変光栄に思っております。

図書館は大学にとっての、本当に重要な心臓なんです。したがってこの大学を設立する時から、いかに図書館が重要かということを私自身強く認識しておりました。

私自身にとってのモデルは2つありまして、一つはオーストラリア国立大学のメンジス・ライブラリー(Menzies Library)です。

私は1977年から78年にANU(Australian National University)オーストラリア国立大学に客員教授として行っておりました。そこで実は私の学位論文、中ソ関係についての歴史的考察に関する学位論文を書きました。オーストラリアで中ソ関係の学位論文と思われるかも知れませんが、日本では多忙でしたので設立されたばかりの現代中国センターの強化のために客員教授として1年間行っていたんですが、大きなユーカリの木のすぐ脇にあるメンジス・ライブラリーに行きますとですね、中国の全ての資料が揃っている。ロシアの全ての資料が揃っている。アメリカの外交文書 Foreign Relations of the United States (FR)、も全部あるんですね。これは日本でそういうことを調べようと思うと、東大にもなかったし、東大の図書館はいつも時間が制限されていて思うように図書館で探すことが出来ない。

ところがメンジス・ライブラリーから机の上にいっぱい本を借りてきましてですね、そこで学位論文に必要とするものがほとんど全て間に合いました。どうしてもない場合には、ナショナル・ライブラリー（国立図書館）に行くんですが、これが図書館だということを私はつくづく痛感しました。

それからもう一つはカリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD）で1年間教鞭をとっておりました、このIR/PSつまりInternational Relations and Pacific Studies大学院の附属図書館もまた素晴らしくてですね、それをモデルにこの大学を作るときにはカリフォルニア大学のサンディエゴ校の図書館にいたPh. D. を持っているライブラリアンに1年間来てもらいました。グローバル・スタンダードの大学図書館にするためにいろいろ力を貸していただきました。

それやこれやですね、この図書館を作ったときに県との言わば争いというか、県との交渉の中では、もう図書館は24時間365日開けるということを私は強く主張しました。ところが県の方はいろいろ言うんですね。もしかかあったら困るとか、安全の問題とか、労務対策上困るとか、その時に私が言った文句はコンビニも24時間やっているじゃないか、なぜ図書館が24時間できないのか、と強い主張で申し上げました。県知事もそれでもって応じてくれましたので、本学の図書館は365日24時間やっております。非常に使用頻度が高いですね。勝又館長以下職員は非常に頑張っておりますので、是非皆さんご覧いただいて参考にしていただければと思います。図書館とレクチャーホールは、つい最近、国際建築賞を受賞しております。東工大の名誉教授、仙田満さんの設計なんです。私といろいろ意見が合いまして県議会が予算を削るためにその図書館を秋田杉で造るべしというのです。木造ですけれども私は本当はその時にしめたと思いました。鉄筋の図書館はつまらない。ここを利用して本当に秋田杉をふんだんに使って欲しいと思いました。是非皆さんご覧いただきまして、A I Uはまだ新しい大学ですので、いろいろ今後ともよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

議長団選出

議長団選出は、慣例により総会当番地区である秋田地区から選出することとなっているため、国立大学では秋田大学附属図書館大好図書館長、公立大学は国際教養大学図書館勝又図書館長、私立大学はノースアジア大学附属図書館渡部図書委員長の3名が選出された。

総会

国際教養大図書館勝又館長より各議長が紹介され、総会の議事進行に関する説明が行われた。

1 報告事項

① 平成21年の会務報告について

（東北大学 加藤総務課長）

総会資料（以下「資料」という。）の1頁から2頁に基づき、平成21年の会務報告について次のとおり報告がなされた。

- 1) 平成21年度は新たに青葉学院短期大学、東北生活文化大学、東北生活文化短期大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学が加盟し加盟館数64（国立15、公立12、私立37館）となった。
- 2) 平成21年度東北地区大学図書館協議会合同研修会実施状況

平成21年7月16日に岩手県立大学を会場として開催された。

【基調講演】

「ラーニングコモンズと図書館戦略」

講師 茂出木理子

（東京大学教養学部等図書課長）

【テーマ別の情報交換会】

- ① 学習のための「場」づくり～学習環境をよりよくするための取組み～
- ② 学習支援のための人的サービス～図書館員による学習支援を深める取組み～
参加者数：国公私立加盟館30館57名
- 3) フレッシュ・パーソンセミナーの開催について
隔年で開催しており、昨年11月13日東北大学附属図書館で開催しまして、18館から31名の参加があった。
- 4) 会誌の刊行
東北地区大学図書館協議会誌61号は平成21年6月に刊行し、加盟館及び関係機関に発送済である。
- 5) 幹事会について
幹事会は2回開催された。
第1回：平成22年7月29日（木）：第65回総会及び部会の議題等について（会場：東北大学附属図書館）
第2回：平成22年9月16日（木）：第65回総会及び部会の運営について（会場：国際教養大学講義棟）
- 6) 記念事業基金について
平成21年度の通常会計から記念事業基金として会費の10%の94,500円を繰り入れた。
- 7) 平成21年度会計監査について

9月3日(金)、東北大学附属図書館において、会計監査館 福島県立医科大学附属図書館学術情報センター及び石巻専修大学図書館による会計監査を受けた。

② 平成21年度一般報告及び各部会報告について

議長から、平成21年度一般報告は国立、公立、私立大学共通事項であり、各加盟館に事前にメール等で送付しており、資料の3頁から5頁を参照することで、報告は省略するとの説明があった。

【部会報告】

■ 国立部会報告

国立部会報告は、資料の6頁から9頁を参照することで報告は省略され、幹事館の東北大学(加藤総務課長)と福島大学(高橋学術情報課長)に付け加えることがあるかどうか確認をとった結果、特にないということであった。

■ 公立部会報告

公立部会報告は、資料の9頁から11頁を参照することで報告は省略され、幹事館の青森県立保健大学に付け加えることがあるかどうか確認をとった結果、特にないということであった。

■ 私立部会報告

私立部会報告は、資料11頁から14頁を参照することで報告は省略され、幹事館の盛岡大学(八木室長)と仙台大学(佐藤館長)に付け加えることがあるかどうか確認をとった結果、特にないということであった。

③ フレッシュ・パーソンセミナー開催報告について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

フレッシュ・パーソンセミナーの開催報告について15頁から16頁に基づき報告がなされた。(報告事項資料17頁から23頁をまでを合わせて参照のこと。)

平成21年11月13日に東北大学を会場として開催された。

参加者数：国公立加盟館18館31名

【内容】

図書館職員としての基礎知識及びカレントトピックス

<講演>大学図書館の役割と課題

- ① カウンターでの接遇とレファレンスの基本
- ② 目録データの作成とILLによる
- ③ 資料の活用
- ④ 雑誌契約業務に関する講義

<班別討議>

テーマ：「学生にもっと図書館を利用してもらうため

に、私たち図書館員は今何をすべきか」

④ 研修部会からの報告について

(研修部会主査 八戸大学・八戸短期大学図書館 小松良重事務室長)

資料17頁に基づき説明がなされた。平成21年度の合同研修会の運営方法、フレッシュ・パーソンセミナーの今後の在り方、初心者向け研修マニュアル(小冊子)の作成等の内容については、協議事項・報告事項17頁から36頁を参照することで、詳しい報告は省略された。

⑤ ウェブサイト運用部会からの報告

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

総会資料18頁「東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会報告」に基づき説明がなされた。詳細は協議事項・報告事項資料集の39頁がトップページとなっており、東北大学附属図書館ウェブサイトに掲載されているので、各自ご確認いただきたいとの説明があった。

⑥ その他

議長より、報告は以上で他に報告するものがないかを確認したが、特にでなかったため報告事項を終了した。

2 協議事項

① 平成21年度決算報告(案)について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料19頁「平成21年度決算書(案)」に基づき収入及び支出の報告がなされた。

② 平成21年度記念事業基金決算報告(案)について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料20頁「平成21年度記念事業基金決算書(案)」と報告事項の48頁「記念事業基金積立要綱」に基づき報告がなされた。第70回の記念事業に関しては、2・3年前から実行委員会を立ち上げ、準備を進める旨の説明があった。

③ 平成21年度会計監査報告について

(福島県立医科大学 関本 由美子専門司書)

平成21年9月3日に東北大学附属図書館において、会計監査館福島県立医科大学附属学術情報センターと石巻専修大学図書館の職員で会計帳簿、証拠書類を精査した結果、平成21年度決算書及び記念事業基金決算書について間違いがなかった旨の報告がなされた。

④ 平成22年度事業計画(案)について

(東北大学 加藤総務課長)

資料21頁「平成22年度の事業計画(案)」に基づき、以下5項目について説明がなされた。

- 1) 第65回総会の開催について
平成22年9月16日(木)、国際教養大学を当番館に実施。
- 2) 会誌の刊行について
東北地区大学図書館協議会誌第62号は平成23年5月に刊行予定である。
- 3) 職員の表彰について
 - ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者。
 - ② 協議会の運営、発展に功績のあった者
以上2点で該当の方を推薦していただき表彰することとなった。
- 4) 研修会の開催について(国公立大学合同)
研修会は秋田地区での開催を予定している。
- 5) 記念事業基金の造成について
平成22年度通常会計から記念事業基金97,500円の繰り入れを予定としている。繰入予定としているのは、会費の10%を限度にして繰り入れるとして、次年度の予算書(案)が認められて確定したい旨が説明された。

⑤ 平成22年度予算(案)について

⑥ 平成22年度記念事業基金予算(案)について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料の22頁「平成22年度予算書(案)」と「記念事業基金予算書(案)」に基づき昨年度からの変更点、特に予算が増減した項目の説明がなされた。

平成22年度の予算額の会費収入では、1館分加わって975,000円となっていること、また会議費については、平成21年度の決算を基に4万円を3万円に変更したとの説明があり、平成22年度予算(案)は承認された。

⑦ 平成22年度合同研修会について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料23頁「平成22年度合同研修会について」に基づき、次回研修会開催当番予定地区が秋田市地区が当番であることをご確認し、平成23年度から30年度までの開催地区当番の確認も同時に行った。

⑧ 第66回総会の当番地区(館)について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料24頁「第66回総会の当番地区(館)」に基づき、当番地区である山形地区の山形大学で開催されることが確認された。第67回総会は、当番地区である宮城地区の加盟館で協議をした上で、来年の第66回総

会において、当番館を報告願いたい旨の依頼がなされた。

⑨ 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について

資料25頁「国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について」と協議事項・報告事項資料の1頁から10頁に基づき、説明がなされた。提案理由において、「構築するため講演依頼の」を「構築するため後援依頼の」へ修正をお願いしたいと言及があった。

⑩ 研修部会委員の改選について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料25頁「研修部会委員の改選について」と協議事項・報告事項資料の11頁から13頁に基づき、説明がなされた。なお、各部会において東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項と現在の研修部会委員を参考にし、協議したのち全体会議にて報告を行うよう依頼があった。

⑪ ウェブサイト運用部会委員の改選について

(東北大学 高橋総務課課長補佐)

資料集の14頁から16頁「ウェブサイト運用部会委員の改選について」に基づき説明がなされた。研修部会委員の改選と同様に、各部会で協議したのち全体会議にて報告を行うよう依頼があった。

⑫ その他

議長から、他に協議するものがないか確認があったが、特になかったため、協議事項を終了した。

1 報告事項

【全体会議】

1. 各部会からの報告

■ 国立大学部会

(福島大学 高橋学術情報課長)

① 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について

研修を後援することが承認された。研修要綱・カリキュラムに関する意見は特になかった。

② 研修部会委員の改選について

国立部会より常任幹事館である東北大学と秋田大学からそれぞれ1名ずつ、計2名が選出され、個人の指名については9月中に常任幹事館へ報告することとなった。

③ ウェブサイト運用部会委員の改選について

常任幹事館の東北大学と福島大学からそれぞれ1名ずつ選出され、研修部会委員と同様に個人名は

9月中旬に常任幹事館へご報告するという事になった。

④ その他

「公共サービス改革への対応について」という依頼が文部科学省からあったことから、東北大学より話題提供があり図書館管理業務について経営改善への取り組みについて意見交換を行った。また、秋田大学より、毎年開催している図書修理講習会についての案内があり、希望がある場合には参加頂きたいという旨が伝えられた。

■公立大学部会

(青森県立保健大 小野主幹)

① 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について

全会一致で後援することが承認された。

② 研修部会委員の改選について

青森県立保健大学から1名を選出する。氏名は未定。決定次第、常任幹事館へ報告することとなった。

③ ウェブサイト運用部会委員の改選について

福島県立医科大学の西戸氏が再任された。

④ その他

私立大学部会の方の承合事項になっている携帯電話を利用したサービスについてと寄贈本の取扱いについて意見交換を行った。最後に平成24年度以降の役員会のローテーションについて次回の総会の部会時に検討することとなった。

■私立大学部会

(仙台大学 佐藤図書館長)

① 国立大学図書館協会東北地区協会主催研修への後援依頼について

異議なく後援することが承認された。毎年確実に研修会の案内を送って欲しいとの要望が出た。

② 研修部会委員の改選について

東北福祉大学と八戸大学・八戸短期大学(再選)からそれぞれ1名ずつ選出された。

③ ウェブサイト運用部会委員の改選について

郡山女子大学と東北学院大学(再選)からそれぞれ1名ずつ選出された。

④ その他

私立大学部会承合事項の携帯電話を利用したサービスについて意見交換を行った。寄贈本の取扱いについては、議題提出の尚綱学院大学図書館が欠席だったため、意見交換はなされなかった。

2 質疑応答

勝又議長より私立大学部会に対し、承合事項の携帯電話を利用したサービスと寄贈本の取扱いについて、どのような話し合いであったか、良いとか悪いとか等評価を含めた具体的な報告がもとめられた。

私立部会：(仙台大学 佐藤図書館長)

携帯電話を利用したサービスについて良いとか悪いとかという議論まではなかった。

勝又議長より下記の意見が述べられ、青森中央学院大学葛西リーダーからは現状報告があった。

(国際教養大 勝又館長)

携帯電話というものを大学教育の中でどう使うべきなのか、どこまで認めるべきなのかというのは、これから結構重要になってくるのだろうと考えている。公立部会では、既に携帯電話を使って授業の履修登録を認めているというところが3、4校あったが、図書館サービスについて携帯電話を使うところは今のところほとんどない。

現状としては、携帯電話での対応をどこまで認めるか、少々疑問を持っている。

(青森中央学院大学 葛西リーダー)

青森中央学院大学では、携帯電話での対応を検討し始めたところである。ただ大学では、PCからの履修登録を行っているが、携帯電話で何でもできるという志向になるのは問題ではないかということで、携帯電話を利用して履修登録することはやめたとの報告があった。

渡部議長は、携帯電話にはいろいろな可能性がある反面、弊害も問題提起もあるため継続的にこれから勉強していく必要があるとまとめられ、全体会議を終了した。

次期当番校挨拶

山形大学 小山清人理事

山形大学の小山でございます。

山形県内には山形大学のほかに公立大学2大学、私立大学3大学が本会の会員になっております。この合計6大学、本学の4キャンパスの図書館も加えると9館になりますが、9館で協力しあって皆様に良い環境のもとでディスカッションしていただけるように準備をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

日時場所につきましてはもう少し時間を頂き、県内の大学間で検討してからご報告したいと思います。

議事につきましては、次回少し変更したいと考えています。

先日国立大学の図書館協議会が、札幌で開催されました。その時の議論に私も共感しました。1つは、「図書館の司書は、既に図書館の専門職の資格と言えないのではないか」という議論があったことです。

もう1つは「国立大学の図書館は死んでる。あるいは死にかけている。」と。これは名古屋大学の図書館長のお話です。

この話題の意味するところは、世の中はどんどん変わっている。もちろん我々も図書館職員としてはどんどん変わっているつもりですが、そのスピード感覚が大学図書館と世の中とは随分ずれているということだと思います。

名古屋大学の館長が言われていたのは町の中で昔は貸本屋が随分繁盛していた。その貸本屋がビデオ屋になったり、今ではYouTubeなり、あるいは今日話がありました電子ブックなりで皆それぞれ読める環境になっている。それなのに国立大学の図書館は貸本屋を続けているとそういうお話があったんですけども、私どもも同様に常に悩み、非常に困っています。その困った内容をもう少し皆様方で思案をして、もっと根本的に図書館を10年後20年後、やはり大学の図書館は重要だなあとと思われるような、そういう方向に持っていきたいと常日頃思っています。

次回の総会でそのきっかけ作りをしたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

終了にあたって

総会終了にあたり各議長より謝辞が述べられた。

閉会のあいさつ

国際教養大学図書館 館長 勝又美智雄

度々私が発言するのは本当に申し訳ないですけども、今回で65回目の協議会総会が、こうやって極めてスムーズにいった最大の理由は常任幹事館の東北大さんはじめ、幹事館の人たちが事前に周到に準備をして下さったからで、幹事館である福島大学、青森県保健大学、盛岡大学、仙台大学の皆さんに本当に心からお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

うちの大学は、皆さん他からいらっしやると気がつくと思いますが、自然に恵まれた環境で、学生たちには随分外国人が多い。閉会のあいさつでも申しましたように、1学年150人の定員に170人が入ってきます。その170人がほしい2年と3年生の時には全員留学しますのでない。その代わりに、世界中に111大学ある提携大学から留学生がうちに来ているので、この9月も170人強の留学生が来

ております。それも北米のアメリカ・カナダが3分の1、ヨーロッパが3分の1、それからモンゴル・中国・韓国・シンガポールなどアジアが3分の1ということで、人種、国籍もバランスがよく取れていると思います。

その留学生たちも本当に図書館をよく使っている。これは実は勉強が大変だということなんです。ほとんどの先生が、私もこの秋学期は毎週3科目6コマ教えていますが、毎回のように宿題、それもレポートを書かせる宿題が多いんです。もちろん全部英語です。それもインターネットで検索するだけではなくて、こちらが指定する本の何章かは読んで書かなきゃいけない、そういうことをやっていますので、だいたい夜の10時、11時まで図書館カウンターの貸し出し業務が非常に多いのです。

特に新入生全員が受けるEAP（英語集中コース）は毎週のように1時間あるいは2時間、オーディオビジュアル（視聴覚）教材を図書館から借りて、聞いたらすぐ返す。それを次の学生が待っていて借り出して聞く、ということをやっていますので、カウンター業務が夜までかなり忙しいのです。

うちの大学の場合、この6年間、図書館の正職員は2人だけです。それプラス嘱託という形で3人雇って、この人たちが夜の12時まで勤務することで回していたんですけども、県の方から「経費削減に努めろ」という強い要請がありまして、7年目のこの春から外部業者にカウンター業務を委託することを始めました。ですからフルタイムが2人に、あとは今日図書館をご覧になった方はわかると思いますが、カウンターに座っている女性、男性が昼間2人あるいは3人、夜も1人か2人、委託スタッフに来てもらっています。つまり委託した会社が7人くらいのチームを組んで、その人たちでくるくる回してうちに来る方式です。これはまさに今、山形大学の館長さんがおっしゃった大学の図書館経営のあり方という問題にも関わることですが、そういう委託方式が本当に良いのかな、というのが私自身も非常に疑問なんです。はっきり言いましてね。

委託業務のスタッフとは、図書館の業務はここからここまで、という条件提示をピシッと決めて、それだけやる。それ以上はしなくていいし、むしろ、してはならないということで絶対やりません。

たとえば、私のところには毎日のように来客があります。そういう時にカウンターの人たちがすぐ近くですから、ついこうっかり私が「お客さんにお茶を出してくれる？」と頼んだら、すぐに「私たちは館長のお客にお茶を出すために業務に来ているではありません」とクレームが来ました。それはその通りなので、私が自分でお茶を入

れました。そうしたら、うちの職員は気がいいので「先生、私たちがやります。」と言ってくれるんですけれども「いいよ、もう自分でやるから。」ということで済ませています。

つまり大学の図書館の運営のあり方というものについて、どこの大学でも皆さん、悩んでいるのではないかと思います。どういう方法がいいのか、まあ当たり前のことですが、絶対に正解なんてない。与えられた条件の中でいかに工夫してやるかです。

われわれも過去6年間、毎年職員のシフトを変えるなど、いろいろな工夫をしてきたけれども、7年目の今春からはこういう委託業者を加えてのやり方に変った。そこで考えるのですが、去年までの職員体制だったら、この図書館総会を引き受ける上でもかなりやり易かったと思います。当時、嘱託で働いていた人たち3人は、非常にうちの大学にシンパシイ(親近感)、愛着を持ってくれていて、こちらが頼まなくても「私がやります」と率先してやってくれた。今さっき言ったように、ドライに時間だけで動く委託業者から派遣された人たちは、こういう特別なイベント、協議会の総会を開くということには全くノータッチです。それを全部、書類作りから印刷から何から何まで、うちの職員2人が、勝浦と西田の2人が、本当によくやってくれている。ありがたいことですが、そういう人の管理、運営の仕方についても、それぞれの大学で、それぞれの特徴を活かしながら、知恵を出して工夫しなければいけない、そういう時代にきているのだと思います。

ちょっと余計なことを言いましたけれど、そういうことを皆さんがそれぞれの大学で悩んで創意工夫をする、そういう時にこれはどうしたらいいんだろうと知恵を出し合うことが重要だろうと思います。先ほどの携帯電話の扱いにしてもそうです。寄贈本の受け取り方についてもそうです。他のところはどうやっているんだろう、他でやっているからうちでもやろうというのではなくて、他がこうやっているのはなぜだろう、何が問題だろう、うちに合うやり方は何だろう、自分の大学のヒューマン・リソース(人材)とナチュラル・リソース(資産)、ファイナンシャル・リソース(財源)を踏まえて、その中でどうやったら一番いいか、工夫するということにわれわれは直面していると実感した次第です。

本当に今日1日、幹事の方は文字通り丸1日でしたね。総会は午後1時からでしたが、長時間、議論していただきまして、大変ありがとうございました。

これで総会を終了致します。

第65回東北地区大学図書館協議会総会出席者名簿

(国 立)

No.	大学図書館名	職 名	氏 名
1	弘前大学附属図書館	館 長	長谷川 成一
2	弘前大学附属図書館	学術情報部長	膝 舘 俊 広
3	弘前大学附属図書館	学術情報部 学術情報課長	酒 井 量 基
4	岩手大学情報メディアセンター図書館	館 長	西 崎 滋
5	岩手大学情報メディアセンター図書館	情報メディア課長	藤 原 健 二
6	東北大学附属図書館	館 長	野 家 啓 一
7	東北大学附属図書館	事 務 部 長	片 山 俊 治
8	東北大学附属図書館	総 務 課 長	加 藤 信 哉
9	東北大学附属図書館	医学分館事務長	高 橋 信 野
10	宮城教育大学附属図書館	館 長	萬 伸 介
11	宮城教育大学附属図書館	主 幹	小 澤 浩
12	秋田大学附属図書館	館 長	大 好 直
13	秋田大学附属図書館	図書館・情報推進課 総 括 主 査	加賀屋 龍 悦
14	山形大学図書館	図書館担当副学長	小 山 清 人
15	山形大学図書館	企画部社会連携・図書 情報ユニット長	矢 口 清
16	福島大学附属図書館	館 長	高 橋 隆 行
17	福島大学附属図書館	学術情報課長	高 橋 喜 一

(公 立)

No.	大学図書館等名	職 名	氏 名
1	青森県立保健大学附属図書館	主 査	小 野 由 美
2	岩手県立大学メディアセンター	教育研究支援課長	藤 田 芳 男
3	宮城大学総合情報センター	副センター長	秋 月 治
4	宮城大学総合情報センター	総務企画グループリーダー	遠 藤 晶 弘
5	秋田県立大学図書・情報センター	図書・情報センター長	森 宏 一
6	秋田県立大学図書・情報センター	司 書	佐 藤 美 穂
7	秋田県立大学図書・情報センター	司 書	石 黒 こずえ
8	秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	館 長	松 本 研 一
9	秋田公立美術工芸短期大学附属図書館	主 席 主 査	佐 藤 咲 子
10	国際教養大学図書館	館 長	勝 又 美智雄
11	国際教養大学図書館	参事兼教務課長	加 藤 泰 久
12	山形県立保健医療大学附属図書館	館 長	伊 橋 光 二
13	会津大学情報センター附属図書館	事 務 長	金 澤 啓 一
14	福島県立医科大学附属学術情報センター	専 門 司 書	関 本 由美子

(私 立)

No.	大学図書館名	職 名	氏 名
1	八戸大学・八戸短期大学図書館	事務室長(司書)	小松良重
2	八戸工業大学図書館	館 長	野田英彦
3	八戸工業大学図書館	図書館・情報事務室 事務長代行	得丸雅夫
4	青森中央学院大学図書館	リ ー ダ ー	葛西崇文
5	岩手医科大学附属図書館	分 館 長	上原至雅
6	岩手医科大学附属図書館	矢巾キャンパス事務室 図書係長	芳賀真理子
7	富士大学図書館	調 査 役	田中博
8	盛岡大学図書館	館 長	高橋幸雄
9	盛岡大学図書館	事 務 室 長	八木融子
10	仙台大学附属図書館	館 長	佐藤幹男
11	仙台白百合女子大学図書館	館 長	太田将勝
12	仙台白百合女子大学図書館	事 務 長	生出登
13	石巻専修大学図書館	館 長	羽田紘一
14	石巻専修大学図書館	事務課長(図書担当)	佐藤彰桂
15	東北学院大学中央図書館	館 長	中川清和
16	東北学院大学中央図書館	図書情報課長	早坂孝司
17	東北学院大学泉キャンパス図書館	図書情報課長補佐	畠山和人
18	東北工業大学附属図書館	次 長	金井辰郎
19	東北福祉大学図書館	館 長	高橋美由紀
20	東北福祉大学図書館	次 長	石田信孝
21	東北福祉大学図書館	図書課長補佐	重松積男
22	東北文化学園大学総合情報センター図書館	セ ン タ ー 長	須藤論
23	東北薬科大学付属図書館	課 長	菅原健士
24	宮城学院女子大学図書館	館 長	深澤昌夫
25	宮城学院女子大学図書館	主 事	菊地芳子
26	仙台青葉学院短期大学図書館	図書館司書	酒井麻紀
27	東北生活文化大学・同短期大学部図書館	館 長	近江恵美子
28	東北生活文化大学・同短期大学部図書館	司 書	村山知美
29	ノースアジア大学附属図書館	図書委員長	渡部毅
30	東北文教大学・同短期大学部附属図書館	館 長	伊藤弘昭

(私 立)

No.	大学図書館名	職 名	氏 名
31	いわき明星大学図書館	学術情報支援室 室長補佐グループ長	片見智子
32	奥羽大学図書館	司 書	小林克也
33	郡山女子大学図書館	司書係長	和知剛
34	日本大学工学部図書館	館 長	永嶋誠一

図 書 館 統 計 年 報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及び図書費

(平成22年3月31日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数		蔵 書 冊 数					平成21年度増加冊数			平成 21年度 図書 購入費
		図書館 職員	内臨時 職員	和 書	洋 書	計	内開架 図書	内指定 図書	和 書	洋 書	計	
弘前大学	6,102	20	10	484,055	158,646	642,701	123,947	-	9,010	2,018	11,028	74,273
(〃医学部分館)	1,569	5	3	98,406	73,722	172,128	34,707	-	1,430	909	2,339	10,685
岩手大学	9,089	26	12	664,999	195,388	860,387	-	-	6,912	1,037	7,949	24,209
東北大学	18,215	59	27	1,451,872	1,122,089	2,573,961	162,980	-	33,082	16,375	49,457	181,588
〃医学分館	4,476	19	11	170,806	257,244	428,050	428,050	-	3,831	2,494	6,325	12,162
〃北青葉山分館	3,356	10	6	76,784	297,355	374,139	-	-	1,615	1,438	3,053	77,297
〃工学分館	5,355	18	8	164,490	177,209	341,699	341,699	-	2,433	6,137	8,570	24,029
〃農学分館	1,279	6	2	74,679	61,317	135,996	135,996	-	2,144	615	2,759	11,868
宮城教育大学	2,934	7	3	287,131	48,092	335,223	313,611	-	3,612	172	3,784	12,937
秋田大学	4,137	21	14	287,230	109,639	396,869	94,892	-	5,460	1,017	6,477	14,990
〃医学部分館	1,648	7	4	47,013	55,847	102,860	-	-	1,588	687	2,275	5,988
山形大学小白川図書館	7,626	16	8	523,098	182,496	705,594	166,324	-	6,392	1,519	7,911	36,599
〃医学部図書館	1,195	5	2	37,010	65,345	102,355	102,355	-	863	141	1,004	5,707
〃工学部図書館	3,259	6	3	110,431	56,188	166,619	60,718	-	▲1,111	295	▲816	13,176
〃農学部図書館	969	3	1	76,844	17,438	94,282	12,796	-	1,228	30	1,258	4,362
福島大学	7,218	21	9	617,074	226,748	843,822	118,354	-	8,947	1,455	10,402	34,579
青森公立大学	3,337	4	2	113,886	43,284	157,170	157,170	1,406	5,122	802	5,924	22,886
青森県保健大	1,850	7	4	73,744	23,265	97,009	97,009	-	3,010	151	3,161	11,057
岩手県立大学	6,425	9	2	219,558	59,352	278,910	-	-	3,669	138	3,807	8,147
宮城大学大和キャンパス	2,192	6	4	75,087	13,839	88,926	60,860	364	7,457	146	7,603	12,113
〃太白キャンパス	943	5	4	48,131	5,771	53,902	40,096	454	3,257	91	3,348	11,727
秋田県立大学	4,879	9	7	165,514	40,327	205,841	153,855	784	9,990	1,493	11,483	19,842
秋田公美工短	1,194	専任2	兼任9	31,583	7,394	38,977	-	-	1,643	292	1,935	4,024
国際教養大学	1,816	5	3	19,257	41,483	60,740	48,787	-	1,809	1,632	3,441	44,570
山形保健医大	890	6	5	50,704	6,496	57,200	-	-	1,523	65	1,588	3,000
米沢女子短大	1,144	4	2	96,596	7,487	104,083	98,315	-	1,221	16	1,237	3,964
会津大学	2,446	8	3	55,980	70,916	126,896	70,520	-	605	434	1,039	2,144
会津大学短大	443	2	1	65,441	7,241	72,682	-	-	1,038	25	1,063	2,107
福島県立医大	3,400	13	3	119,647	92,616	212,263	197,248	-	2,850	968	3,818	70,426
青森大学	2,729	4	1	134,863	22,168	157,031	-	-	1,101	34	1,135	2,132
東北女子大学	247	2	0	32,487	4,377	36,864	36,864	-	541	0	541	1,886
八戸大学	1,636	3	0	143,730	13,740	157,470	80,000	1,220	2,715	132	2,847	8,850
八戸工業大学	2,512	6	1	101,912	25,795	127,707	27,660	-	1,352	242	1,594	4,379
弘前学院大学	1,280	2	0	81,536	18,633	100,169	100,169	-	1,731	121	1,852	4,033
青森中央学院大学	1,585	9	5	70,024	4,526	74,550	57,936	-	1,787	14	1,801	3,762
岩手医科大学	4,966	15	6	137,234	135,162	272,396	249,490	379	1,724	984	2,708	13,066
富士大学	1,255	5	1	150,441	29,686	180,127	46,763	205	6,231	315	6,546	5,745
盛岡大学	2,081	7	1	141,672	22,152	163,824	65,291	-	4,613	300	4,913	10,256
修紅短期大学	206	2	1	12,967	264	13,231	12,481	364	586	30	616	880
岩手看護短大	183	3	1	18,065	2,345	20,410	2,410	-	210	0	210	322
仙台大学	1,120	2	0	88,159	15,924	104,083	50,000	-	2,782	274	3,056	4,278
白百合女子大	1,446	8	4	76,923	9,766	86,689	86,689	595	4,043	162	4,205	17,289
石巻専修大学	3,496	5	0	99,872	57,669	157,541	-	-	2,547	824	3,371	9,251
東北学院大学中央	7,602	31	22	439,224	294,089	733,313	31,924	-	11,287	5,678	16,965	109,961
東北学院大多賀城	2,776	8	6	93,280	58,008	151,288	151,111	-	1,682	617	2,299	15,884
東北学院大泉	6,100	14	10	203,058	96,496	299,554	139,959	-	8,369	2,402	10,771	53,685
東北工業大学	3,409	8	1	173,135	53,148	226,283	59,087	-	6,225	1,002	7,227	28,732
東北福祉大学	4,058	15	3	267,368	65,721	333,089	141,100	-	8,775	1,101	9,876	43,043
東北文化学園	1,982	3	0	94,342	16,441	110,783	78,823	0	8,119	489	8,608	7,365
東北薬科大学	2,036	5	3	58,418	41,177	99,595	99,595	-	1,382	441	1,823	7,257
宮城学院女大	3,215	11	6	293,944	102,640	396,584	42,727	363	6,068	960	7,028	74,554
尚絅学院大学	2,337	11	0	101,326	20,378	121,704	103,999	667	3,353	123	3,476	14,160
聖和学園短大	428	2	1	51,796	1,281	53,077	50,360	-	898	0	898	1,329
仙台青葉学院短大	214	1	0	6,602	168	6,770	6,468	-	6,602	168	6,770	6,816
東北生活文化大学	660	2	1	60,531	5,339	65,870	65,870	-	776	55	831	3,291
ノースアジア大学	1,689	4	1	145,816	28,325	174,141	89,723	-	1,661	43	1,704	5,125
東北芸工大学	2,155	3	0	122,912	14,725	137,637	137,637	-	4,961	529	5,490	15,222
羽陽学園短大	705	2	0	53,009	2,338	55,347	55,347	84	1,099	9	1,108	3,441
東北文教大学・同短大	1,533	5	2	105,140	8,375	113,515	64,653	297	3,763	243	4,006	11,839
いわき明星大	4,943	2	0	178,757	54,038	232,795	63,390	-	6,367	202	6,569	22,163
奥羽大学	2,635	7	0	144,081	91,878	235,959	235,959	-	1,948	840	2,788	7,324
郡山女子大学	1,651	4	0	96,005	14,317	110,322	10,000	-	1,374	177	1,551	4,181
東日本国際大	1,221	4	0	66,854	10,134	76,988	76,988	-	1,315	10	1,325	3,724
日本大工学部	5,006	14	9	216,664	122,142	338,806	338,806	-	▲679	▲131	▲810	7,058
桜の聖母短大	642	2	1	45,618	8,984	54,602	54,602	-	1,014	145	1,159	2,944
福島学院大学	2,190	6	3	69,496	5,571	75,067	75,067	-	1,499	2	1,501	2,896

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成21年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写		
	対象学生数	学 生				対象職員数	教 職 員				学内分	学外分	計
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出				
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数			
弘前大学 (〃医学部分館)	6,907	-	-	18,786	35,010	2,551	-	-	1,148	2,518	456	3,269	3,725
岩手大学	-	-	-	7,046	11,739	-	-	-	908	2,002	262	2,776	3,038
東北大学	6,092	-	-	-	38,531	1,136	-	-	-	3,466	2,920	2,787	5,707
〃医学分館	18,748	-	-	56,300	120,979	9,045	-	-	5,383	14,764	5,420	4,334	9,754
〃北青葉山分館	2,732	-	-	6,841	11,312	3,713	-	-	959	1,957	1,194	22,124	23,318
〃工学分館	2,921	-	-	7,644	13,486	649	-	-	761	1,498	386	3,405	3,791
〃農学分館	6,882	-	-	1,419	39,218	1,419	-	-	1,301	2,732	5,756	2,929	8,685
宮城教育大学	1,028	-	-	-	7,178	181	-	-	-	1,005	665	2,234	2,899
秋田大学	1,744	-	-	10,031	19,217	270	-	-	919	4,468	225	661	886
〃医学部分館	5,151	-	-	11,943	25,908	2,469	-	-	897	2,631	3,602	1,487	5,089
山形大学小白川図書館	1,306	-	-	7,987	13,498	1,311	-	-	1,068	3,136	2,635	4,472	7,107
〃医学部図書館	3,525	-	-	18,874	39,942	479	-	-	1,434	2,958	224	1,954	2,178
〃工学部図書館	1,120	-	-	3,879	6,818	1,423	-	-	1,208	2,172	126	4,277	4,403
〃農学部図書館	3,825	-	-	10,075	19,697	383	-	-	656	1,353	136	907	1,043
福島大学	627	-	-	2,591	4,180	120	-	-	160	240	26	197	223
青森公立大学	4,679	-	-	16,192	37,399	641	-	-	1,406	6,054	5,364	1,355	6,719
青森県保健大学	1,302	-	-	5,709	12,511	99	-	-	286	758	51	25	76
岩手県立大学	864	-	-	9,810	27,839	425	-	-	1,254	4,264	6,943	2,821	9,764
宮城大学大和キャンパス	2,586	-	-	9,548	19,196	518	-	-	1,745	5,119	2,307	1,127	3,434
〃太白キャンパス	1,349	-	-	7,602	17,491	211	-	-	620	1,941	4,984	1,367	6,351
秋田県立大学	543	-	-	3,177	6,211	109	-	-	420	965	1,096	211	1,307
秋田公美工短	1,891	-	-	-	27,659	472	-	-	-	6,447	1,815	980	2,795
国際教養大学	335	-	-	-	6,915	61	-	-	-	1,273	0	81	81
山形保健医大	989	-	-	-	11,581	168	-	-	-	1,578	47	1	48
米沢女子短大	421	-	-	3,694	6,863	78	-	-	548	1,124	2,410	516	2,926
会津大学	674	27,963	-	5,017	9,981	91	1,182	-	433	1,058	727	257	984
会津大学短大	1,283	-	-	2,363	3,888	168	-	-	443	931	166	636	802
福島県立医大	343	-	-	2,605	5,226	52	-	-	538	2,709	58	2	60
青森大学	1,192	-	-	9,305	17,074	2,292	-	-	1,634	3,953	-	4,428	4,428
東北女子大学	1,453	-	-	-	1,204	155	-	-	-	313	336	263	599
八戸大学	350	5,313	-	-	639	93	851	-	-	457	528	0	528
八戸工業大学	781	16,236	-	1,880	4,626	170	966	-	454	1,380	467	605	1,072
弘前学院大学	1,472	-	-	513	1,090	249	-	-	71	264	38	154	192
青森中央学院大学	992	-	-	4,690	4,690	176	-	-	2,042	2,042	23,866	686	24,552
岩手医科大学	1,179	-	-	1,994	3,474	210	-	-	317	1,015	0	368	368
富士大学	2,143	-	-	3,320	6,261	2,981	-	-	2,691	7,370	-	-	-
盛岡大学	984	-	-	1,101	2,348	139	21	54	329	713	0	340	340
修紅短期大学	2,106	41,694	-	5,706	12,902	226	1,012	-	432	1,031	1,206	436	1,642
岩手看護短大	147	-	-	147	1,395	54	-	-	52	256	22	3	25
仙台大学	250	32	48	900	1,414	91	21	31	71	151	33	0	33
白百合女子大	2,612	-	-	2,320	4,050	275	-	-	90	271	0	0	0
石巻専修大学	1,216	-	-	3,526	6,888	109	-	-	215	456	412	55	467
東北学院大学中央	2,029	-	-	2,392	4,149	141	-	-	484	1,228	0	238	238
東北学院大多賀城	12,635	-	-	9,970	18,495	1,089	-	-	2,099	5,025	5,982	726	6,708
東北学院大泉	12,635	-	-	3,422	6,395	1,089	-	-	640	1,550	1,171	448	1,619
東北工業大学	12,635	-	-	11,052	19,706	1,089	-	-	1,352	3,880	4,575	346	4,921
東北福祉大学	3,020	-	-	4,167	7,552	257	-	-	567	1,190	340	21	361
東北文化学園	5,498	-	-	18,865	38,029	752	-	-	1,012	2,898	916	1,315	2,231
東北薬科大学	7,188	-	-	7,188	10,044	709	-	-	709	1,658	4,851	647	5,498
宮城学院女大	1,805	-	-	1,269	2,217	189	-	-	369	1,000	1,608	126	1,734
尚綱学院大学	3,411	-	-	11,811	23,203	474	-	-	1,073	2,629	1,551	1,967	3,518
聖和学園短大	1,848	-	-	5,149	10,933	253	-	-	674	1,942	628	19	647
仙台青葉学院短大	585	10,898	-	1,314	2,032	145	1,454	-	202	474	2,795	4	2,799
東北生活文化大学	150	-	-	191	382	39	-	-	104	282	9	47	56
ノースアジア大学	608	-	-	2,084	4,645	127	-	-	461	1,506	363	3	366
東北芸工大学	1,081	-	-	1,290	2,353	131	-	-	403	1,248	143	81	224
羽陽学園短大	2,078	-	-	12,273	28,601	206	-	-	976	2,670	1,363	93	1,456
東北文科大学・同短大	247	-	-	1,935	4,529	66	-	-	-	442	0	27	27
いわき明星大	759	53,487	-	3,629	6,163	188	-	-	159	547	0	3	3
奥羽大学	2,007	-	-	6,855	13,694	376	-	-	915	2,083	962	272	1,234
郡山女子大学	1,144	34,864	-	2,521	3,974	473	14,942	-	1,387	2,585	8,452	449	8,901
東日本国際大	1,181	10,108	-	-	3,135	271	1,259	-	-	1,244	460	163	623
日本大工学部	950	10,420	-	1,048	1,789	177	1,423	-	318	714	280	363	643
桜の聖母短大	5,012	92,341	-	6,577	14,442	344	2,202	-	718	3,898	302	1,172	1,474
福島学院大学	436	24,489	-	2,406	4,979	63	1,744	-	423	1,019	0	6	6
	1,321	-	-	1,985	3,548	131	-	-	332	560	197	5	202

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成21年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費		
				受付数			内購入分				冊数	金額	
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計				千円
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
(〃医学部分館)	14,329	3,916	18,245	2,549	314	2,863	529	248	777	29,433	201	340	
岩手大学	4,039	2,491	6,530	859	340	1,199	105	228	333	34,589	1,035	1,825	
東北大学	8,653	2,128	10,781	6,088	369	6,457	396	185	581	13,991	1,031	1,849	
〃医学分館	24,767	16,627	41,394	5,510	2,756	8,266	1,285	1,747	3,032	650,597	9,046	1,524	
〃北青葉山分館	4,727	8,983	13,710	1,597	1,442	3,039	422	1,200	1,622	12,830	3,330	5,280	
〃工学分館	2,149	6,975	9,124	820	1,293	2,113	113	461	574	57,236	1,744	3,465	
〃農学分館	10	1	11	1,021	598	1,619	231	460	691	2,420	2,199	3,958	
宮城教育大学	3,897	1,909	5,806	1,193	333	1,526	155	142	297	1,820	746	1,977	
秋田大学	3,005	768	3,773	819	92	911	481	90	571	10,016	389	844	
〃医学部分館	6,479	2,566	9,045	1,233	208	1,441	298	176	474	13,237	142	240	
山形大学小白川図書館	1,557	1,657	3,214	567	149	716	147	123	270	11,955	859	1,503	
〃医学部図書館	9,792	3,172	12,964	2,405	340	2,745	419	264	683	17,339	55	99	
〃工学部図書館	3,206	2,217	5,423	1,101	450	1,551	205	335	540	48,283	0	0	
〃農学部図書館	1,764	1,308	3,072	396	86	482	345	47	392	4,596	265	473	
福島大学	1,201	406	1,607	420	25	445	91	18	109	1,908	0	0	
青森公立大学	10,357	3,069	13,426	2,835	344	3,179	702	238	940	21,542	1,618	2,930	
青森県保健大	202	193	395	202	193	395	164	193	357	22,936	300	593	
岩手県立大学	906	261	1,167	557	134	691	247	127	374	19,714	101	200	
宮城大学大和キャンパス	486	231	717	443	231	674	431	231	662	21,131	1,000	1,943	
〃太白キャンパス	825	384	1,209	270	79	349	230	79	309	12,743	0	0	
秋田県立大学	1,626	246	1,872	384	77	461	140	62	202	7,526	0	0	
秋田公美工短大	2,119	891	3,010	955	336	1,291	458	298	756	34,851	1,066	2,077	
国際教養大学	95	66	161	70	33	103	70	33	103	1,600	0	0	
山形保健医大	86	91	177	86	91	177	71	82	153	2,876	133	258	
米沢女子短大	971	208	1,179	690	161	851	95	82	177	7,645	0	0	
会津大学	125	20	145	125	20	145	94	20	114	2,918	194	106	
会津大学短大	510	820	1,330	264	153	417	85	153	238	28,399	-	-	
福島県立医大	87	90	177	90	20	110	90	20	110	2,244	0	0	
青森大学	4,551	2,958	7,509	980	284	1,264	272	206	478	57,262	1,679	3,081	
東北女子大学	215	201	416	169	10	179	140	8	148	4,761	0	0	
八戸大学	314	21	335	69	21	90	69	21	90	3,397	0	0	
八戸工業大学	856	113	969	831	79	910	191	68	259	5,580	0	0	
弘前学院大学	862	611	1,473	153	99	252	88	76	164	16,158	240	450	
青森中央学院大学	744	47	791	104	48	152	103	46	149	4,117	146	245	
岩手医科大学	187	57	244	176	55	231	174	55	229	3,604	0	0	
富士大学	4,761	2,732	7,493	1,515	322	1,837	378	198	576	24,857	1,663	4,107	
盛岡大学	2,461	225	2,686	1,171	54	1,225	145	54	199	10,444	0	0	
修紅短期大学	2,494	204	2,698	1,048	52	1,100	164	52	216	5,687	13	26	
岩手看護短大	53	0	53	53	0	53	38	0	38	379	30	63	
仙台大学	190	52	242	57	6	63	54	6	60	1,230	95	200	
白百合女子大	1,295	160	1,455	128	59	187	128	59	187	6,947	0	0	
石巻専修大学	301	96	397	227	87	314	210	86	296	9,640	228	476	
東北学院大学中央	1,214	774	1,988	302	121	423	271	119	390	38,037	937	2,201	
東北学院大多賀城	7,383	2,023	9,406	1,845	356	2,201	355	330	685	30,397	611	1,199	
東北学院大泉	1,728	1,323	3,051	719	214	933	260	184	444	34,640	399	814	
東北工業大学	2,688	923	3,611	850	307	1,157	397	298	695	44,333	561	1,100	
東北福祉大学	1,175	605	1,780	723	319	1,042	255	299	554	38,597	684	46,498	
東北文化学園	4,171	774	4,945	2,271	390	2,661	587	359	946	39,209	587	1,528	
東北薬科大学	868	129	997	698	72	770	161	56	217	5,066	294	500	
宮城学院女大	524	448	972	209	104	313	50	91	141	16,734	444	935	
尚絅学院大学	7,309	836	8,145	1,281	236	1,517	387	204	591	19,120	-	315	
聖和学園短大	821	218	1,039	257	78	335	238	77	315	8,882	75	150	
仙台青葉学院短大	148	1	149	97	0	97	70	0	70	786	18	38	
東北生活文化大学	56	9	65	56	9	65	56	9	65	149	0	0	
ノースアジア大学	224	46	270	88	12	100	82	12	94	2,159	0	0	
東北芸工大学	1,959	275	2,234	938	66	1,004	116	64	180	5,805	149	298	
羽陽学園短大	307	129	436	210	54	264	137	53	190	3,528	0	0	
東北文教大学・同短大	109	13	122	72	6	78	69	6	75	1,055	97	209	
いわき明星大	129	33	162	92	8	100	92	8	100	1,750	0	0	
奥羽大学	783	450	1,233	313	144	457	289	136	425	2,008	213	382	
郡山女子大学	1,096	1,252	2,348	521	218	739	216	186	402	50,543	1,270	2,223	
東日本国際大	988	91	1,079	155	13	168	145	10	155	3,532	267	504	
日本大工学部	229	92	321	380	26	406	116	25	141	2,586	249	499	
桜の聖母短大	1,602	1,342	2,944	323	141	464	278	141	419	24,674	998	1,980	
福島学院大学	124	33	157	77	14	91	73	13	86	1,572	64	121	
	74	18	92	74	18	92	70	18	88	4,211	15	35	

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当番大学	回	年	当番地区	当番大学
1	昭和22	宮城	東北大学	34	54	宮城	東北福祉大学
2	23	〃	仙台工業専門学校	35	55	秋田	秋田大学
3	24	〃	東北学院大学	36	56	山形	山形大学
4	24	〃	東北大学	37	57	宮城	宮城学院女子大学
5	25	岩手	岩手大学	38	58	青森	弘前大学
6	26	山形	山形大学	39	59	岩手	岩手医科大学
7	27	青森	弘前大学	40	60	宮城	東北大学
8	28	福島	福島大学	41	61	福島	福島県立医科大学
9	29	秋田	秋田大学	42	62	秋田	秋田大学
10	30	宮城	宮城学院女子大学	43	63	宮城	東北学院大学
11	31	岩手	岩手医科大学	44	平成元	山形	山形大学
12	32	山形	山形大学	45	2	青森	弘前大学
13	33	秋田	秋田大学	46	3	宮城	石巻専修大学
14	34	青森	弘前大学	47	4	岩手	富士大学
15	35	福島	福島県立医科大学	48	5	福島	郡山女子大学
16	36	宮城	東北大学	49	6	宮城	東北薬科大学
17	37	岩手	岩手大学	50	7	秋田	秋田経済法科大学
18	38	福島	福島大学	51	8	山形	山形大学
19	39	宮城	東北学院大学	52	9	宮城	東北工業大学
20	40	秋田	秋田大学	53	10	青森	青森公立大学
21	41	山形	山形大学	54	11	岩手	盛岡大学・盛岡短期大学
22	42	宮城	東北薬科大学	55	12	宮城	宮城教育大学
23	43	青森	弘前大学	56	13	福島	奥羽大学
24	44	岩手	奥州大学	57	14	秋田	秋田県立大学
25	45	宮城	東北工業大学	58	15	宮城	東北福祉大学
26	46	福島	福島県立医科大学	59	16	山形	山形大学
27	47	秋田	秋田経済大学	60	17	青森	青森大学・青森短期大学
28	48	宮城	宮城教育大学	61	18	宮城	宮城大学
29	49	山形	山形大学	62	19	岩手	岩手県立大学
30	50	青森	弘前大学	63	20	福島	いわき明星大学
31	51	宮城	東北大学	64	21	宮城	仙台白百合女子大学
32	52	岩手	岩手大学	65	22	秋田	国際教養大学
33	53	福島	福島大				

※ 第64回総会において第65回から74回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覧【第48回(平成5)～第64回(平成21)】

	常任幹事館	幹事館			会計監査館			審査委員館 第62回総会から 論文審査館(平成19年8月まで)		
		(国立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	(公立)	(私立)	
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学 宮城教育大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学		
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学 秋田大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学		
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学		
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北文化学園大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学		
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台白百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学		
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学	仙台白百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学		
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学		
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学		
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	福島県立医科大学	石巻専修大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学		

東北地区大学図書館協議会研修部会委員

(任期 22. 9. 1 ~ 24. 8. 31)

推薦母体	氏 名	所 属 大 学 ・ 役 職 等	備 考
国立部会	檜 原 啓 一	東北大学附属図書館工学分館 整理係	22. 9. 1~ 23. 3. 31
	小清水 裕 子	東北大学附属図書館医学分館 整理係	23. 4. 1~ 24. 8. 31
	飯 沼 邦 恵	秋田大学附属図書館 図書情報担当主査	
公立部会	小 野 由 美	青森県立保健大学附属図書館 主幹	
私立部会	小 松 良 重	八戸大学・八戸短期大学図書館 事務室長	
	本 間 雅 人	東北福祉大学図書館図書課長	

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会委員

(任期 22. 9. 1 ~ 24. 8. 31)

推薦母体	氏 名	所 属 大 学 ・ 役 職 等	備 考
国立部会	堀 野 正 太	東北大学附属図書館総務課学術情 報支援係	22. 9. 1~ 23. 3. 31
	菊 地 良 直	”	23. 4. 1~ 24. 8. 31
	芦 原 ひろみ	福島大学附属図書館学術情報課 主任	
公立部会	西 戸 雅 博	福島県立医科大学附属学術情報 センター 主任司書	
私立部会	須 田 充 彦	東北学院大学中央図書館係長	
	和 知 剛	郡山女子大学図書館司書係長	

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また随時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館をおく。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内におく。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2. 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）

この会則は平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の変更について

常任幹事館から、役員の内任（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者
- (2) 協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

2. 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。
3. 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。
4. 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

2. 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

1. この規程は平成19年9月20日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。
3. 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

- 第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
 - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
 - (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
 - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

1. この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。
2. 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

.....
表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

.....
表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします。

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

〇〇 大学附属図書館長 殿

〇〇 大学(附属) 図書館長

〇〇〇〇 公印

表 彰 者 の 推 薦 に つ い て

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお
取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

〇 〇 〇 〇

(第2条第1号該当者)

表 彰 者 推 薦 調 書

〇〇 大学(附属) 図書館

職 名		氏 名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推 薦 理 由								
業 績 等	研究のテーマ 又は調査事項							
	発表集会等名							
	発表年月日							
	掲載誌名及び巻号							
	発行年月日							
	発行機関							
	発表者又は著者名							
	当該業績等に係る他組 織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)							
	図 書 館 業 務 歴							

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

(第2条第2号該当者)

表彰者薦調書

〇〇大学(附属)図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
履 歴 事 項								
年	月	日	勤務内容等(大学等名及び業務)					
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
加盟館勤務年数計〇〇年								

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間(業務上の傷病の期間は除く)及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会が実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修の実施
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

1. この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会研修検討WGは、廃止する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成20年9月18日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会(以下「協議会」という。)にウェブサイト運用部会(以下「部会」という。)を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第3条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

1. この要項は、平成20年9月18日から施行する。
2. 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

(平成14年9月20日)

東北地区大学図書館協議会

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回
国立大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回
東北地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 東北地区国立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。
2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。
2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して、協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。
3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。
4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。
5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。
2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

- 1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。
- 2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した歳、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

加 盟 館 職 員 名 簿

(平成23年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) 39 - 3155

FAX番号 (0172) 39 - 3171

E-mail jm3155@cc.hirosaki-u.ac.jp

館長 (併)教授 長谷川 成一
事務責任者 学術情報部長 膝 館 俊 広
学術情報課長 工 藤 弘 文

【岩手大学情報メディアセンター図書館】

電話番号 (019) 621 - 6082

FAX番号 (019) 621 - 6088

E-mail lsomu@iwate-u.ac.jp

情報メディアセンター長 西 崎 滋
(併・副学長 評価・情報統括担当)
事務責任者 情報メディア課長 藤 原 健 二

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) 795 - 5911

FAX番号 (022) 795 - 5909

E-mail sinyu-ta@bureau.tohoku.ac.jp

館長 理事 野 家 啓 一
副館長 (併)教授 柳 澤 輝 行
事務責任者 事務部長 片 山 俊 治

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) 717 - 7973

FAX番号 (022) 717 - 7982

E-mail lib-med@bureau.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 柴 原 茂 樹
事務責任者 事務長 長 井 孝 行

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) 795 - 6368

FAX番号 (022) 795 - 3753

E-mail klib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 岩 渕 好 治
事務責任者 管理係長 小 幡 明 子

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) 795 - 5892

FAX番号 (022) 795 - 7120

E-mail elib-k@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 宮 城 俊 彦
事務責任者 図書館専門員 日 出 弘

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) 717 - 8882

FAX番号 (022) 274 - 2127

E-mail alib@library.tohoku.ac.jp

分館長 (併)教授 加 藤 和 雄
事務責任者 図書係長 松 元 義 正

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) 214 - 3348

FAX番号 (022) 214 - 3351

E-mail toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

館長 (併)教授 渡 邊 徹
事務責任者 学術情報課長 佐々木 義 則

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) 889 - 2273

FAX番号 (018) 832 - 4917

E-mail soumu@lib.akita-u.ac.jp

館長 (併)教授 立 花 希 一
事務責任者 図書館・情報課長 川 村 眞

【秋田大学附属図書館医学部分館】

電話番号 (018) 884 - 6052

FAX番号 (018) 884 - 6252

E-mail kagaya@lib.akita-u.ac.jp

分館長 (併)教授 阿 部 寛
事務責任者 総括主査 加賀谷 龍 悦

【山形大学附属図書館】

電話番号 (023) 628 - 4016

FAX番号 (023) 628 - 4849

E-mail k-tojyoki@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

図書担当副学長 理事・副学長 小山清人
 事務責任者 渉外部 社会連携・図書・情報課長
 矢口清

【山形大学小白川図書館】

電話番号 (023) 628 - 4904

FAX番号 (023) 628 - 4915

E-mail jkasomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 高橋和
 事務責任者 小白川キャンパス事務部
 図書課長 細谷美千枝

【山形大学医学部図書館】

電話番号 (023) 628 - 5054

FAX番号 (023) 628 - 5059

E-mail itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 本山悌一
 事務責任者 係長 青野康雄

【山形大学工学部図書館】

電話番号 (0238) 26 - 3019

FAX番号 (0238) 26 - 3408

E-mail koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 米竹孝一郎
 事務責任者 係長 三角太郎

【山形大学農学部図書館】

電話番号 (0235) 28 - 2810

FAX番号 (0235) 28 - 2815

E-mail notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 高橋敏能
 事務責任者 係長 土屋直之

【福島大学附属図書館】

電話番号 (024) 548 - 8082

FAX番号 (024) 548 - 2377

E-mail k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp

館長(副学長) (併)教授 高橋隆行
 事務責任者 学術情報課長 高橋喜一
 (参事)

【青森公立大学図書館】

電話番号 (017) 764 - 1551

FAX番号 (017) 764 - 1591

E-mail lib@bb.nebuta.ac.jp

館長 (併)教授 丁 圏 鎮
 事務責任者 主査 戎 未来
 " 図書館専門員 小田 真邦子

【青森県立保健大学附属図書館】

電話番号 (017) 765 - 2011

FAX番号 (017) 765 - 2012

E-mail library@auhw.ac.jp

館長 (併)教授 入江良平
 事務責任者 図書課長 須藤 浩

【岩手県立大学メディアセンター】

電話番号 (019) 694 - 2070

FAX番号 (019) 694 - 2071

E-mail ipu-library@ml.iwate-pu.ac.jp

メディアセンター長 (併)副学長 武田利明
 宮古短期大学部図書館長 (併)教授 宮井久男
 事務責任者 教育研究支援室長 宇部 眞一

【宮城大学総合情報センター】

電話番号 (022) 377 - 8313

FAX番号 (022) 377 - 8383

E-mail tosho@myu.ac.jp

(大和キャンパス図書館)

館長 (併)教育研究担当理事 井上正康
 事務責任者 総務課企画 遠藤 晶弘
 グループリーダー

(太白キャンパス図書館)

電話番号 (022) 245 - 1046

FAX番号 (022) 245 - 2214

E-mail f-tosho@myu.ac.jp

センター長 (併)教育研究担当理事 井上正康
 事務責任者 総務学務課長 眞山 茂

【秋田県立大学図書・情報センター】

電話番号 (018) 872 - 1561

FAX番号 (018) 872 - 1674

E-mail a_library@akita-pu.ac.jp

図書・情報センター長 理事 小林 淳 一
事務責任者 事務局次長 長谷部 功

【秋田公立美術工芸短期大学附属図書館】

電話番号 (018) 888 - 8106

FAX番号 (018) 888 - 8107

E-mail counter@amcac.ac.jp

館長 (併)教授 鈴木 司
事務責任者 事務局管理課長 大鐘 武 博
(兼)附属図書館事務長

【国際教養大学図書館】

電話番号 (018) 886 - 5907

FAX番号 (018) 886 - 5912

E-mail katsuula@aiu.ac.jp

館長 (併)教授 勝又 美智雄
事務責任者 教務課長 須田 幸子
(兼)総務課長

【山形県立保健医療大学附属図書館】

電話番号 (023) 686 - 6671

FAX番号 (023) 686 - 6679

E-mail mhorii@yachts.ac.jp

館長 理事 伊橋 光 二
事務責任者 図書地域貢献主査 保利 真 澄

【山形県立米沢女子短期大学附属図書館】

電話番号 (0238) 22 - 7334

FAX番号 (0238) 22 - 7998

E-mail sugai@yone.ac.jp

館長 教授 馬場 重 行
事務責任者 図書館管理主査 須貝 貴美子

【会津大学情報センター附属図書館】

電話番号 (0242) 37 - 2545

FAX番号 (0242) 37 - 2544

E-mail isamu-ta@u-aizu.ac.jp

館長(センター長) (併)教授 趙 強 福
事務責任者 事務長 金澤 啓 一

【会津大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (0242) 37 - 2458

FAX番号 (0242) 37 - 2412

E-mail tosho@jc.u-aizu.ac.jp

館長 (併)教授 森 文 雄
事務責任者 主任司書 秋葉 康 江

【福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) 547 - 1687

FAX番号 (024) 547 - 1996

E-mail lib@fmu.ac.jp

センター長 (併)教授 上田 和 毅
事務責任者 学術情報室長 中高 克 郎
(併)学生課長

【青森大学・青森短期大学附属図書館】

電話番号 (017) 738 - 2001 (内) 441

FAX番号 (017) 738 - 2034 (短期大学)

E-mail lib@aomori-u.ac.jp

館長 (併)教授 菅 勝 彦
事務責任者 主任 下山 修 司

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) 33 - 2289

FAX番号 (0172) 33 - 2486

E-mail tosyo@tojo.ac.jp

館長 (併)教授 佐々木 隆

【八戸大学・八戸短期大学図書館】

電話番号 (0178) 30 - 1695

FAX番号 (0178) 30 - 1737

E-mail komatsu@kg.hachinohe-u.ac.jp

館長 (併)教授 矢野 峰 生
事務責任者 事務室長 小松 良 重

【八戸工業大学図書館・情報事務室】

電話番号 (0178) 25 - 8032

FAX番号 (0178) 25 - 8887

E-mail tosyo@hi-tech.ac.jp

館長 教授 熊谷 浩 二
図書館次長 教授 鈴木 寛
事務責任者 事務長代行(主事) 得丸 雅 夫

【弘前学院大学附属図書館】

電話番号 (0172) 34 - 5211 (内153)

FAX番号 (0172) 38 - 4071

E-mail sisyo2@hirogaku-u.ac.jp

館長 (併)教授 大野 拓哉

【青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター】

電話番号 (017) 728 - 0131

FAX番号 (017) 738 - 8333

E-mail lib@aomoricgu.ac.jp

センター長 (併)教授 加藤 澄

事務責任者 (併)教育開発推進課長 櫻庭 肇

【岩手医科大学附属図書館】

電話番号 (019) 651 - 5111

FAX番号 (019) 625 - 8030

E-mail tosho@j.iwate-med.ac.jp

館長 (併)教授 武田 泰典

分館長 (併)教授 松政 正俊

事務責任者 事務室長 菅原 良子

【富士大学図書館】

電話番号 (0198) 22 - 4986

FAX番号 (0198) 23 - 6381

E-mail tosyokan@fuji-u.ac.jp

館長 (併)教授 牧野 博

事務責任者 調査役 高橋 直樹

【盛岡大学図書館】

電話番号 (019) 688 - 5561

FAX番号 (019) 694 - 1048

E-mail yagi@morioka-u.ac.jp

館長 (併)教授 春日 菜穂美

事務責任者 事務室長司書 八木 融子

【修紅短期大学図書館】

電話番号 (0191) 24 - 2211

FAX番号 (0191) 24 - 2213

E-mail library@shuko.ac.jp

館長 (併)教授 小室 彰

【岩手看護短期大学図書館】

電話番号 (019) 687 - 3864

FAX番号 (019) 687 - 3894

E-mail library@iwate-nurse.ac.jp

館長 (併)学長 小川 英行

事務責任者 (併)講師 三田 弥生

【仙台大学附属図書館】

電話番号 (0224) 55 - 1399

FAX番号 (0224) 57 - 2062

E-mail library@scn.ac.jp

館長 (併)教授 佐藤 幹男

事務責任者 課長 川村 隆

【仙台白百合女子大学図書館】

電話番号 (022) 374 - 5090

FAX番号 (022) 374 - 4577

E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp

館長 (併)教授 太田 将勝

事務責任者 図書館事務長 生出 登

【石巻専修大学図書館】

電話番号 (0225) 22 - 7718

FAX番号 (0225) 22 - 7875

E-mail sai@isenshu-u.ac.jp

館長 (併)教授 羽田 紘一

事務責任者 課長(学生支援担当) 佐藤 彰桂

【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) 264 - 6491

FAX番号 (022) 264 - 6490

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

館長 (併)教授 中川 清和

事務責任者 図書情報課長 早坂 孝司

【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) 368 - 1206

FAX番号 (022) 368 - 0777

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 遠藤 孝夫

事務責任者 課長補佐 高橋 富士男

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) 375 - 1174

FAX番号 (022) 375 - 2121

E-mail lib-office@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 森 美智子
 事務責任者 課長補佐 島山 和人

【東北工業大学附属図書館】

電話番号 (022) 305 - 3178

FAX番号 (022) 305 - 3180

E-mail nhayasak@tohtech.ac.jp

館長 (併)教授 高橋 恒夫
 事務責任者 事務長 早坂 のり子

【東北福祉大学図書館】

電話番号 (022) 717 - 3319

FAX番号 (022) 717 - 3339

E-mail ishida@tfu-mail.tfu.ac.jp

館長 (併)教授 高橋 美由紀
 事務責任者 次長 石田 信孝
 課長 本間 雅人

【東北文化学園大学総合情報センター図書館】

電話番号 (022) 233 - 3878

FAX番号 (022) 233 - 9453

E-mail lib@office.tbgu.ac.jp

館長 (併)教授 須藤 論
 事務責任者 副部長 長澤 良信

【東北薬科大学附属図書館】

電話番号 (022) 727 - 0061

FAX番号 (022) 273 - 5255

E-mail library@tohoku-pharm.ac.jp

館長 (併)教授 松山 雄三
 事務責任者 事務課長 菅原 健士

【宮城学院女子大学図書館】

電話番号 (022) 279 - 5658

FAX番号 (022) 279 - 6077

E-mail t-ohsaka@mgu.ac.jp

館長 (併)教授 深澤 昌夫
 事務責任者 副参事 大坂 田茂子

【尚絅学院大学図書館】

電話番号 (022) 381 - 3439・3440

FAX番号 (022) 381 - 3441

E-mail k_kimura@shokei.ac.jp

館長 (併)教授 高橋 真
 事務責任者 図書課長 木村 久美子

【聖和学園短期大学図書館】

電話番号 (022) 376 - 8257

FAX番号 (022) 376 - 3155

E-mail seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp

館長 (併)教授 荒井 美智子
 事務責任者 司書 安田 明華

【仙台青葉学院短期大学図書館】

電話番号 (022) 369 - 8003

FAX番号 (022) 215 - 0950

E-mail lib@seyogakuin.ac.jp

館長 (併)教授 工藤 三四郎

【東北生活文化大学附属図書館】

電話番号 (022) 272 - 7518

FAX番号 (022) 301 - 5601

E-mail library@mishima.ac.jp

館長 (併)教授 近江 恵美子

【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) 836 - 2406

FAX番号 (018) 836 - 4402

E-mail naulib@nau.ac.jp

館長 (併)理事・総務課長 佐々木 香
 副館長 (併)准教授 橋元 志保
 教務責任者 教務学生課総括アソシエイトマネージャー
 進藤 真紀子

【東北芸術工科大学図書館】

電話番号 (023) 627 - 2044

FAX番号 (023) 627 - 2085

E-mail library@aga.tuad.ac.jp

館長代理 学長 根岸 吉太郎
 事務責任者 事務長 芳賀 幹代

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) 655 - 2385

FAX番号 (023) 655 - 2844

E-mail tosho@uyo.ac.jp

館長 (併)准教授 柏倉弘和
事務責任者 図書係長 高橋明子

【東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (023) 688 - 7544

FAX番号 (023) 688 - 6438

E-mail library@t-bunkyo.jp

館長 (併)准教授 伊藤弘昭
事務責任者 課長補佐 半澤幸子

【いわき明星大学図書館】

電話番号 (0246) 29 - 7121

FAX番号 (0246) 29 - 5001

E-mail library@iwakimu.ac.jp

館長 (併)教授 井上知泰
事務責任者 室長補佐 片見智子
グループ長

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 8931

FAX番号 (024) 932 - 8944

E-mail ohulib@f8.dion.ac.jp

館長 安藤勝
事務責任者 図書部長 伊藤喜章

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) 932 - 4848

FAX番号 (024) 924 - 1394

E-mail wachi@koriyama-kgc.ac.jp

館長 (併)教授 山田幸二
副館長 (併)教授 二宮和比古
事務責任者 司書係長 和知剛

【東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館】

電話番号 (0246) 35 - 0416

FAX番号 (0246) 25 - 9188

E-mail lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp

館長 (併)教授 大川信行

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) 956 - 8639

FAX番号 (024) 956 - 8869

E-mail tosyokan@ao.ce.nihon-u.ac.jp

館長 教授 野田吉弘
事務責任者 図書館事務課長 吉田正裕

【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 534 - 7137

FAX番号 (024) 534 - 7138

E-mail lib-c@ssjc.ac.jp

館長 教授 小笠原正薫
事務責任者 司書 津田文子

【福島学院大学図書館情報センター】

電話番号 (024) 553 - 2087

FAX番号 (024) 553 - 8253

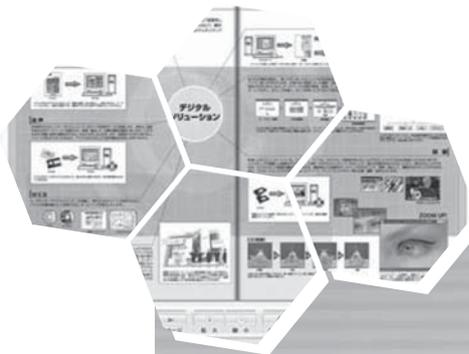
E-mail tosho@fukushima-college.ac.jp

館長 (併)准教授 呂学如
事務責任者 業務課長 佐藤幸

For the wisdom into the Next.

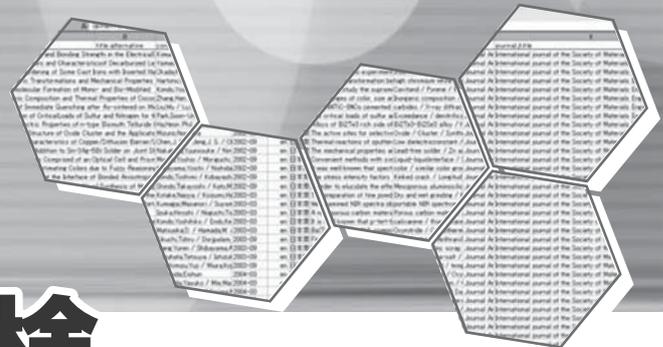
コレクション
ドキュメント
の活用のための

DIGITAL SOLUTIONS



画 像データ作成

機 関リポジトリサポート



長 期保存対策

検 索用メタデータの作成

研究・公開・利用のための、貴重資料や研究成果物などの電子化。
再利用・バックアップ・保管コスト削減のための、書類・図面などのデータ化。
共有・活用、長期保存など、大切な情報資産の有効に欠かせないデジタル化に対し、効率のよいデータ化・コンテンツづくりから、システム構築・Web公開・運用、長期保存対策まで、ワンストップでサポートします。

ナカバヤシ株式会社 図書館サポートカンパニー



仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目6-27 TEL:022-284-3045 FAX:022-239-7550

東京本社	〒174-8602	東京都板橋区東坂下2丁目5-1	TEL:03-3558-1251	FAX:03-3558-1260
大阪支社	〒536-0005	大阪市城東区中央2丁目1-23	TEL:06-6930-6668	FAX:06-6935-2667
名古屋支店	〒456-0053	名古屋市熱田区一番2丁目2-6	TEL:052-661-3771	FAX:052-661-3775
福岡支店	〒812-0051	福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11	TEL:092-641-3661	FAX:092-641-3699

PDFデータ入稿で、原稿を持ち込むことなく製本づくり。
FUERU FINEBOOK: <http://www.fueru.jp/finebook/>

E-mail: toshokan@nakabayashi.co.jp

MARUZEN

ナレッジワーカー

KNOWLEDGE WORKER

ナレッジワーカー

KNOWLEDGE WORKER

は、丸善が運営する会員向けオンライン書店です。



プロフェッショナルのための
オンライン書店

全面
リニューアル!!
renewal

会員登録はこちらから

 <http://kw.maruzen.co.jp/>

厳選された専門書、学術分野のeBook(電子書籍)を中心とした充実の品揃え!

英文校正・多言語翻訳サービス、プリントオンデマンドサービス等、豊富な研究者支援サービスが満載!

- 1 会員登録・年会費無料(個人会員)
- 2 公費(科研費など各種予算)・私費購入に対応
- 3 請求書・クレジットカードのお支払いも可能
- 4 研究活動を支援する多彩なメニュー

会員登録をして頂く丸善店舗で使える「来店選定カード」の発行が可能です。▶



文献管理・論文作成支援ソフトウェアのスタンダード

Thomson Reuters

EndNote®

Advance your Research and Publish Instantly



1 文献情報の取り込み

データベースや電子ジャーナルで検索した論文の書誌情報を簡単に取り込み

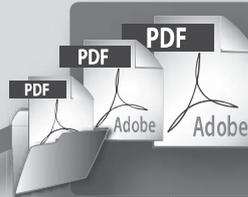
- CiNii ● Google Scholar ● JBC ● JDreamII
- JSTOR ● OvidSP ● PubMed ● SciFinder
- ScienceDirect ● Web of Science
- 医中誌Web 等多数

MS Excelや他の文献管理ソフトからも取り込み可能

EndNoteはこんな方におすすめ!

- 論文の参考文献リストを手軽に作成したい!
- データベースでの検索結果を保存・管理したい!
- フルテキストPDFファイルを一元管理したい!
- 研究業績集を作成したい!

2 文献情報の管理

取り込んだ文献情報を自分仕様のデータベースとして管理
閲覧・検索・編集・印刷・グループ分け・PDF等のファイル添付フルテキストPDFからの
レコード作成が可能に!フルテキストPDFファイルを
自動ダウンロード!
その他各種ファイルも
文献と合わせて管理可能!

相互転送

EndNote® Web

個人アカウントが標準装備
インターネット上にライブラリを持つことができます3 論文作成支援
(参考文献リストの自動作成)投稿するジャーナルに合わせて参考文献リストを自動作成
(対応する投稿規程は4,500種類以上)

What's New!

- ▶ ご要望の多かったフルテキストPDFからの文献情報取り込みがいに実現!
- ▶ 論文への引用の追加・削除・移動・内容編集のすべてをひとつの画面からスムーズに操作!
- ▶ 本文中の引用部分にハイパーリンクを作成! クリックひとつで巻末の対応するレファレンスにジャンプ!
- ▶ レコードの詳細画面を開かずにライブラリ一覧画面のQuick Editタブを利用して手早く編集!
- ▶ グループ機能がさらに充実! 既存グループ間で重複して保存されているレコードを抽出!
- ▶ 搭載されているアウトプットスタイルは4,500以上! 新たにAPA 6thにも対応!
- ▶ Footnote部分のテンプレート設定も改善!

ユサコ株式会社

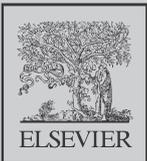
http://www.usaco.co.jp/



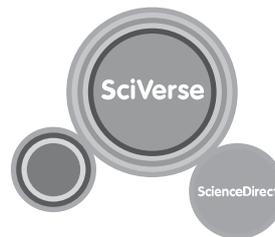
THOMSON REUTERS

ご購入のお問合せ先・お申し込み先: ニュービジネスグループ
〒106-0044 東京都港区東麻布 2-17-12
Tel.03-3505-3257 Fax.03-3505-6283
Email.en-order@usaco.co.jp

技術的なお問合せ: Email:endnote@usaco.co.jp ☎0120-551-051



エルゼビア サイエンス・ダイレクト レファレンスワーク & eBooks



すぐれた編集者と高い評価で定評ある
エルゼビアのレファレンスワークをオンライン化

同時ユーザー数無制限、24時間いつでも、どこからでもアクセス！
冊子体を所蔵するスペースの節約が可能に！



Comprehensive Biomaterials

生体材料学全書

Edited by Ducheyne, Healy, Hutmacher, Grainger, Kirkpatrick

Print & Online

本書では、バイオマテリアルに用いられるセラミクス、貴金属、高分子など多種多様な素材や複合材料の個別特性の紹介、それらのバイオメディカル・デバイスやインプラントにおける利用など、バイオマテリアル研究の背景となる基礎研究から医療現場での応用まで200を超える項目に収録。加えて、R&Dや商業開発等における戦略的考察なども紹介している。

【対応冊子体情報：全6巻 約3,750ページ ISBN: 978-0-08-055302-3 2011年8月刊行予定】



Comprehensive Biotechnology

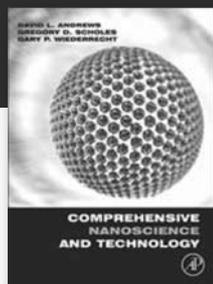
生命工学全書 第2版

Edited by Butler, Webb, Moreira, Grodzinski, Cui, Andrews

Print & Online

バイオテクノロジーの社会生活に及ぼす変化は、医療や食糧、環境、エネルギーなど身近な暮らしから地球規模の問題まで多岐に渡る。本書は好評を博した第1版から16年ぶりの待望の第2版。導入部分では、発酵や遺伝子工学などバイオテクノロジーの基礎的研究技術の進歩をカバー、続けて遺伝子組み換えやクローン技術の医療分野での応用、バイオマスのエネルギー利用など最新の応用研究、新たな技術開発や特許に関する情報をまとめている。

【対応冊子体情報：全6巻 約5,904ページ ISBN: 978-0-44-453352-4 2011年7月刊行予定】



Comprehensive Nanoscience and Technology

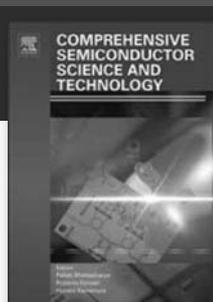
ナノ科学技術全書

Edited by Andrews, Scholes, Wiederrecht

Print & Online

多機能モバイル機器から創薬・新医療技術の確立など、ナノサイエンスは人類のライフスタイルに大きな変化をもたらしている。本書は、材料科学、化学、物理学、ライフサイエンスと幅広い分野の発展に寄与するナノ科学技術全般に関する最新情報を網羅している。学際分野の研究者にとっても論文執筆に不可欠なエントリーポイントとなる1冊である。

【対応冊子体情報：全5巻 2,664ページ ISBN: 978-0-12-374390-9 2010年11月刊行】



Comprehensive Semiconductor Science and Technology

半導体科学技術全書

Edited by Bhattacharya, Fornari, Kamimura

Print & Online

現代生活に欠かせない半導体研究の基礎から技術開発の発展が著しいナノテクノロジーや量子エレクトロニクス等の最先端分野を網羅した包括的なレファレンス。大きく3部構成となっており、1部では半導体の基礎となる物理理論の紹介、2部ではバルク単結晶や薄膜など半導体技術について、3部ではデバイスへの応用を中心に言及している。大学院生向けの教育に適したチュートリアル形式のコンテンツも含まれており、教科書としても活用できる実用書。

【対応冊子体情報：全6巻 3,512ページ ISBN: 978-0-44-453143-8 2011年3月刊行】

*掲載タイトルのほかにも数多くのタイトルを揃えております。詳細は下記までお問い合わせください。

内容に関するご照会、資料のご請求は下記弊社へご用命ください。

エルゼビア・ジャパン株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布一丁目ビル4階

電子図書館サービス

TEL: 03-5561-5034 / FAX: 03-5561-5047 / E-mail: jp.dls@elsevier.com

日本語ホームページ <http://japan.elsevier.com/products/sd/books/>

英語情報ページ <http://www.info.sciencedirect.com/books/>

※ご注文は図書館を通してお願いいたします。

冊子体について

TEL: 03-5561-1051 / FAX: 03-5561-5047

E-mail: jp.stbooks@elsevier.com

<http://elsevierdirect.com/> (書誌情報)

※ご購入は洋書取扱書店にお願いいたします。

Empowered by Innovation

NEC

みなさまの近くに、 NEC



**NECは、みなさまの暮らしを
IT技術で支えています。**

NEC東北支社 〒980-6025 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル) TEL:022-267-8760

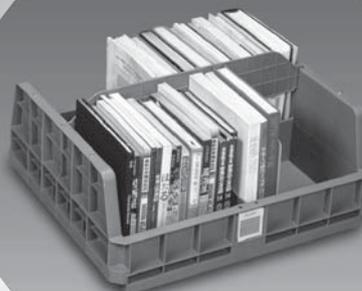
<http://www.nec.co.jp/>

Auto Lib.

[自動化書庫]



蔵書点検システムをさらに充実



書庫の中の「見える化」を実現。映像システムにより、図書返却直後のコンテナ内図書と書庫データとの照合で、確実な蔵書点検を可能にしました。更にICタグでは、コンテナ内の図書を一括読取りして、自動確認を極めて高い精度で実現。オートライブならではの短時間で行える蔵書点検システムは、より確実な運用をサポートします。

自動化書庫オートライブの特徴

- 独自の運用システム・管理データにより、従来型書庫では出来なかった新しい利用者サービスの提供
- 出納作業及びカウンター業務の軽減による大幅な省力効果
- 利用者を待たせない高速出納
- 図書・資料の限られた空間への大量保管を実現

よりよい保管システムを提供する

 **日本ファイリング**

日本ファイリング株式会社

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2 (新御茶ノ水アーバンビル)
支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・大宮・横浜・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

資料請求・お問い合わせは ▶ <http://www.nipponfiling.co.jp> ☎0120-808-977 電話受付/月～金(土・日・祝日を除く) 9:00～17:00

無料
トライアル
実施中!!



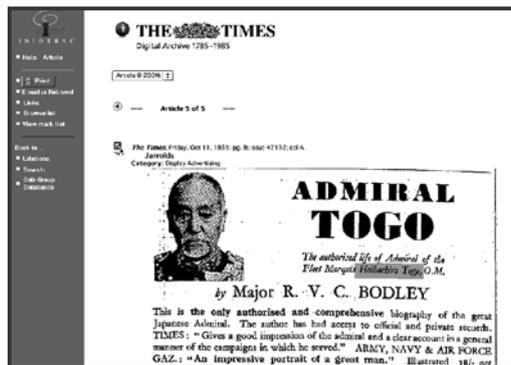
BOOKS-YUSHODO
オンラインデータベース

THE TIMES Digital Archive 1785-1985

世界を動かした新聞ロンドン・ タイムズ200年刊の完全アーカイブ

これまで新聞のバックファイルといえば原紙か、マイクロフィルムで閲覧するのが常識でしたが、取り扱いの難しさや検索の便などに問題がありました。また、近年増えつつあるオンライン版にしても、検索が可能ではあるものの、多くは過去数年分の記事しか見られず、写真や広告が含まれていないなどの欠点がありました。

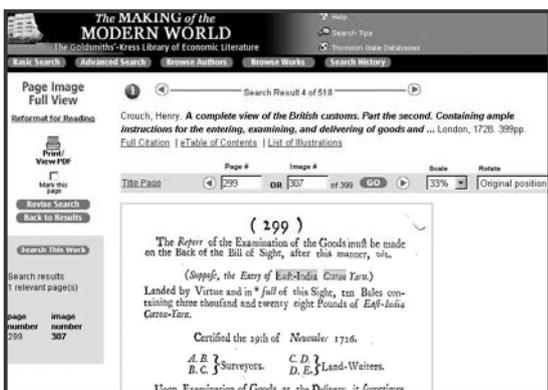
The Times Digital Archive 1785-1985 は、このマイクロフィルム画像の持つすぐれた再現性に、デジタル技術による検索機能、オンラインの機動性を加えた、画期的な「歴史アーカイブ」です。『ロンドン・タイムズ』の誇る200年におよぶバックファイルをありのままに閲覧できるだけでなく、本文中のすべての語句から検索でき、しかも研究室のパソコンでも簡単に利用することができます。これまでの閲覧作業を格段に簡単にするだけでなく、フルテキストによる新たな検索機能は、これまでありえなかった研究の地平を開くことでしょう。



The Making Of the Modern World 社会科学系学術図書データベース

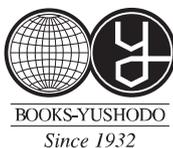
The Goldsmiths'-Kress Library of Economic Literature 1450-1850
「ゴールドスミス・クレス」が、オンラインで閲覧可能に。

NIIコンソーシアム採択決定



本データベースは15世紀半ばから1850年までの経済学史・経営史・社会思想史を中心とする社会科学関係の書籍61,000点、および同年代に創刊された定期刊行物445点を収録し、フルテキスト検索を可能にする一大データベースです。収録資料は社会科学系の歴史的コレクションとして望みうる最高のものであると言われているロンドン大学ゴールドスミス文庫とハーバード大学経営大学院クレス文庫の蔵書を原本としており、社会科学全域をカバーした1200万ページにもおよぶ資料の検索は研究に貴重な資料を提供します。

小社ホームページ (<http://www.yushodo.co.jp.ypc>) から詳細がご覧いただけます。



株式会社 **雄松堂書店** 価格等詳細は小社営業部までお問い合わせ下さい。
—日本総販売代理店— <http://www.yushodo.co.jp>

本社：〒160-0002 東京都新宿区坂町27 Tel: 03-3357-1411 Fax: 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp
京都：〒604-8101 京都市中京区御池通柳馬場角 京都朝日ビルディング5F Tel: 075-222-0165 Fax: 075-256-2032



<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/netlibrary>

NetLibrary は和書・洋書の eBook (電子書籍) コレクションを提供する世界最大級のプロバイダーです。NetLibrary の eBook は、インターネット環境と Web ブラウザがあればいつでもどこでもアクセスが可能です。学術書を中心に、辞書、百科事典、ハンドブック、専門ガイドなどのレファレンス書、各分野の専門書、ビジネス書、一般書などを刊行する日本・欧米の主要な出版社が参加し、多彩な内容となっています。

和書コンテンツ好評販売中！ ~ 上記 URL にて全タイトルリスト公開中です ~

◆NetLibrary の特徴

- 学術系 eBook を **23 万タイトル以上** 含むコレクションで、**欧米の優良出版社の多数 (約 500)** が参加。**全世界で約 18,000 の機関** が利用しています。日本語コンテンツも 2,600 タイトル収録。日本語契約機関は 200 機関です。
- 書架スペースや書籍の保管、破損、紛失などの問題を考える必要がありません。
- インターネットと Web ブラウザで閲覧し、専用デバイスやリーダーは不要です。(一部 Adobe®Reader®使用)
- 横断検索は NetLibrary 搭載 eBook **23 万タイトルすべて (未購入を含む) のフルテキスト** を対象にすることができます。
- 著作権の範囲内でコピー&ペースト、印刷、PDF 保存することができます。付箋、メモなどの便利な機能も利用できます。
- 利用統計の確認、個人アカウントの管理などを行える管理用ツールがあります。
- 購入した eBook については MARC (NACSIS-CAT または MARC21 形式) が提供されます。
- **多言語インターフェース (日・英・仏・独・西・中・韓・タイ・蘭)** をご用意しております。

◆NetLibrary の画面例

The image displays three screenshots of the NetLibrary web interface. The left screenshot shows the search results page for 'ナショナリズム' (Nationalism), listing three books. The middle screenshot shows the '詳細検索画面' (Detailed Search Screen) with various filters like title, author, and format. The right screenshot shows the 'eBook コンテンツ画面' (eBook Content Screen) displaying the text of a book page.

Copyright 2011 EBSCO Publishing, Inc. Used with Permission. NetLibrary is a trademark of EBSCO Publishing, Inc.

◆ご契約・ご購入の条件

- NetLibrary のご契約は、機関 (図書館) 単位となります。
- NetLibrary eBook はタイトル単位の買い切り商品です。初期導入費用、年間維持費はかかりません。ご希望のタイトルやコレクションをご指定ください。個別にお見積もりいたします。
- 同時アクセス数: 1 タイトル 1 ユーザー (複本購入によって同時アクセス数を増やすことが可能です)



弘前営業所 Tel: 0172-36-3755 Fax: 0172-36-5649 Mail: hirosaki@kinokuniya.co.jp
 仙台営業所 Tel: 022-227-0301 Fax: 022-266-5312 Mail: sendai@kinokuniya.co.jp

東北地区大学図書館協議会誌 第 62 号

平成 23 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27 - 1 東北大学附属図書館内
東北地区大学図書館協議会
☎ (022) 795 - 5910

編 集 仙台市青葉区川内 27 - 1 東北大学附属図書館
